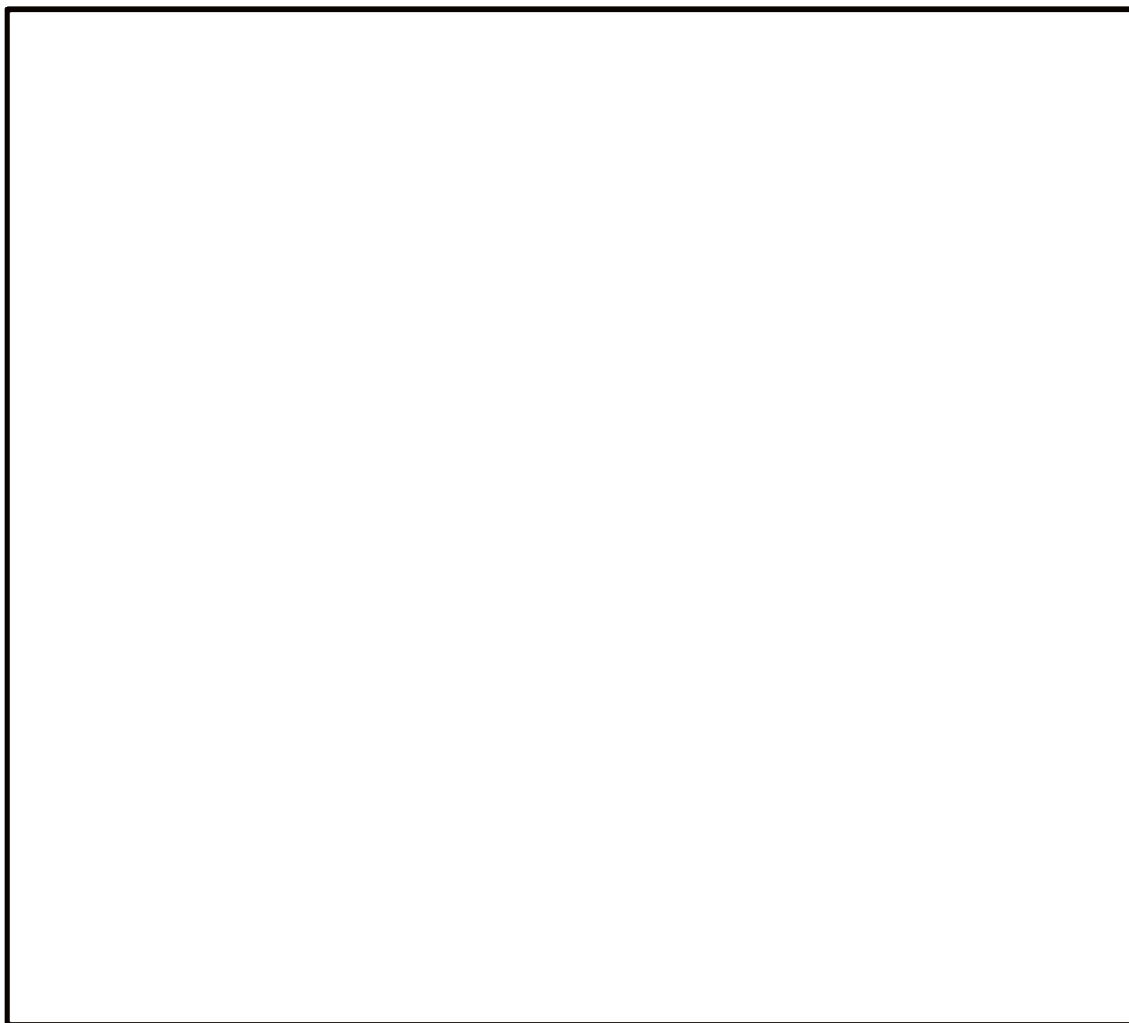


別 紙

- 別紙 1. 特別点検実施箇所
- 別紙 2. 遮蔽能力における非破壊試験箇所
- 別紙 3. 空気環境測定箇所
- 別紙 4. 中性化深さにおける非破壊試験実施箇所
- 別紙 5. 塩分量測定箇所
- 別紙 6. 塩分量測定の考え方
- 別紙 7. 強度、遮蔽能力、中性化深さ、塩分浸透の点検結果の詳細（コアサンプル毎の試験結果）
- 別紙 8. 新規制基準以降に設置した構造物の建設時に実施した主な試験結果

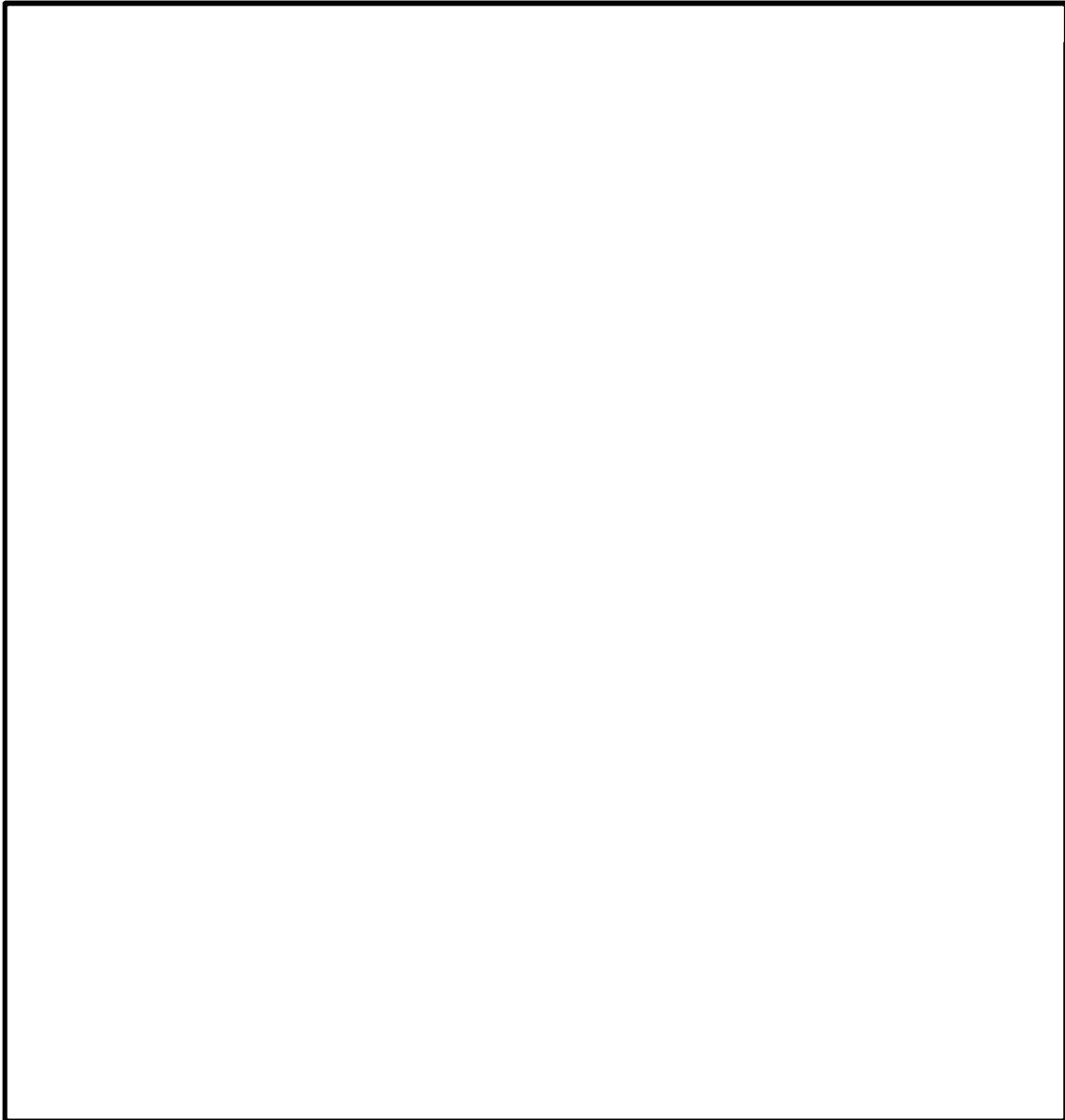
別紙 1. 特別点検実施箇所

- | 凡例 | (断面方向) | (垂直方向) | |
|----|--------|--------|----------------------|
| | ▼ | ● | : 強度コアサンプル採取箇所 |
| | ▼ | ● | : 遮蔽能力コアサンプル採取箇所 |
| | ▼ | ● | : 中性化深さコアサンプル採取箇所 |
| | ▼ | ● | : 塩分浸透コアサンプル採取箇所 |
| | ▼ | ● | : アルカリ骨材反応コアサンプル採取箇所 |



図－別紙 1－1 川内 2 号炉 特別点検実施箇所
(原子炉格納施設等)

- 凡例 (断面方向) (垂直方向)
- | | | |
|---|---|----------------------|
| ▼ | ● | : 強度コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 遮蔽能力コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 中性化深さコアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 塩分浸透コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : アルカリ骨材反応コアサンプル採取箇所 |



図－別紙 1－2 川内 2 号炉 特別点検実施箇所
(原子炉格納施設等、原子炉補助建屋)

- 凡例 (断面方向) (垂直方向)
- | | | |
|---|---|----------------------|
| ▼ | ● | : 強度コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 遮蔽能力コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 中性化深さコアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 塩分浸透コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : アルカリ骨材反応コアサンプル採取箇所 |

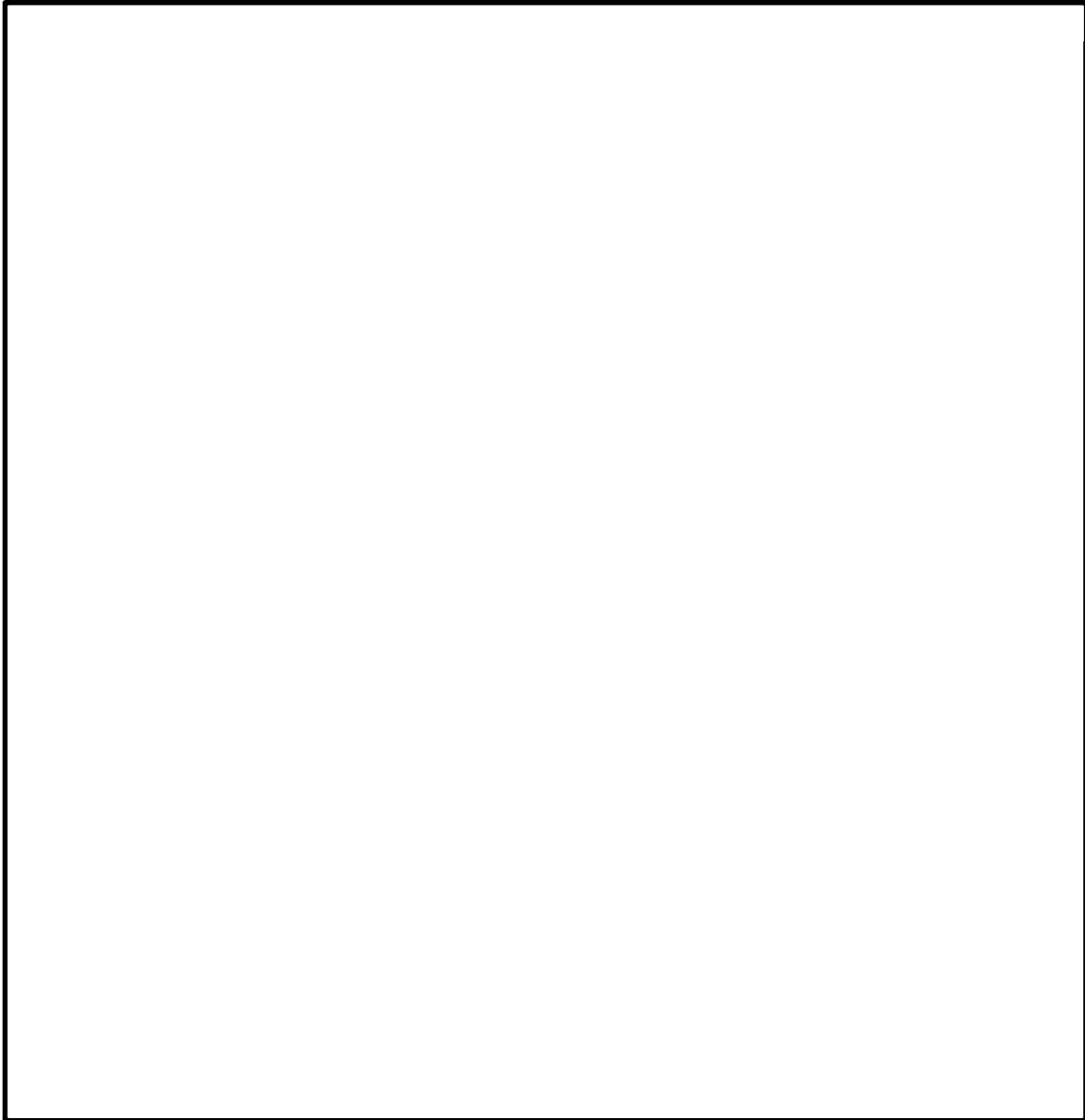
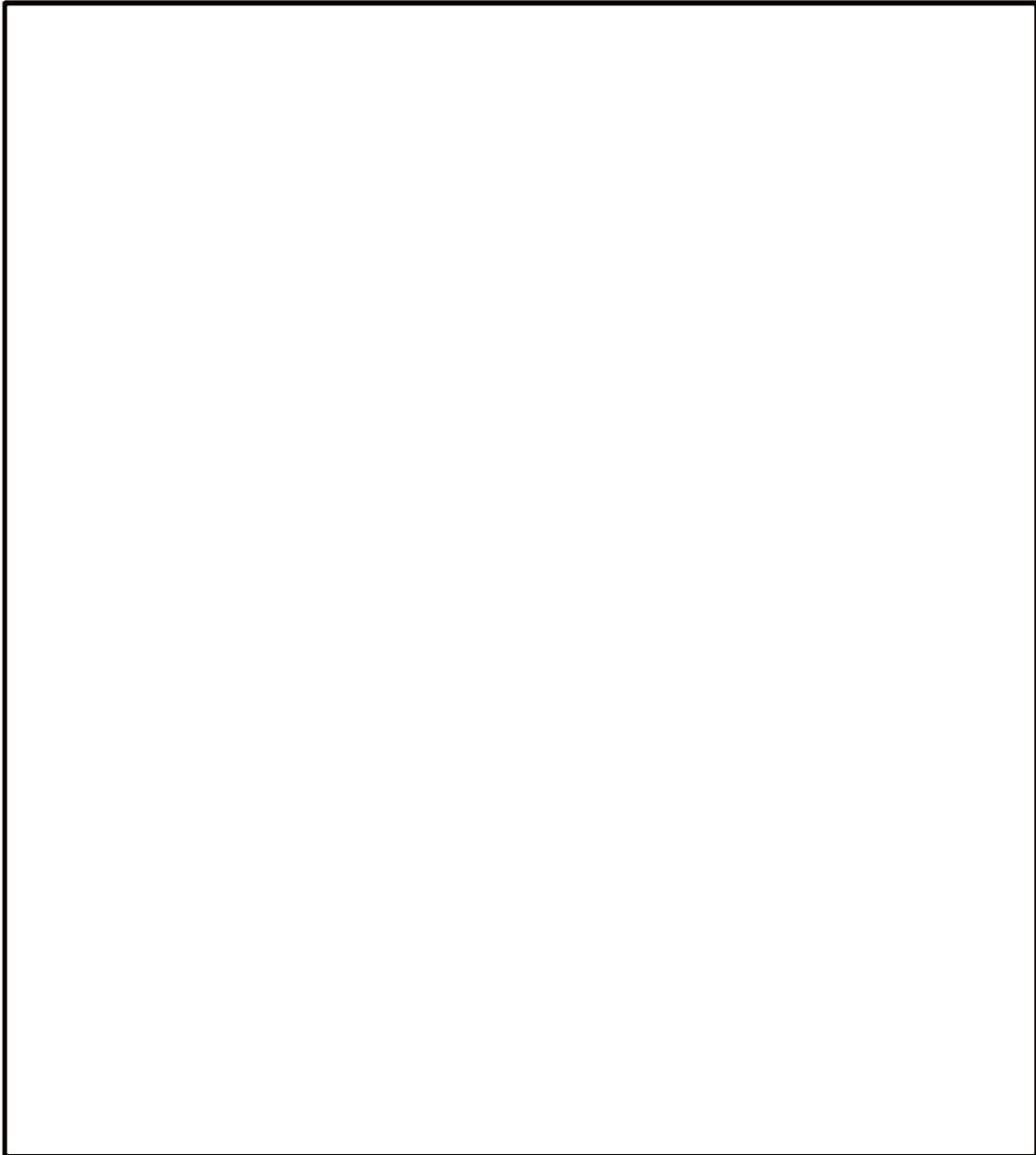


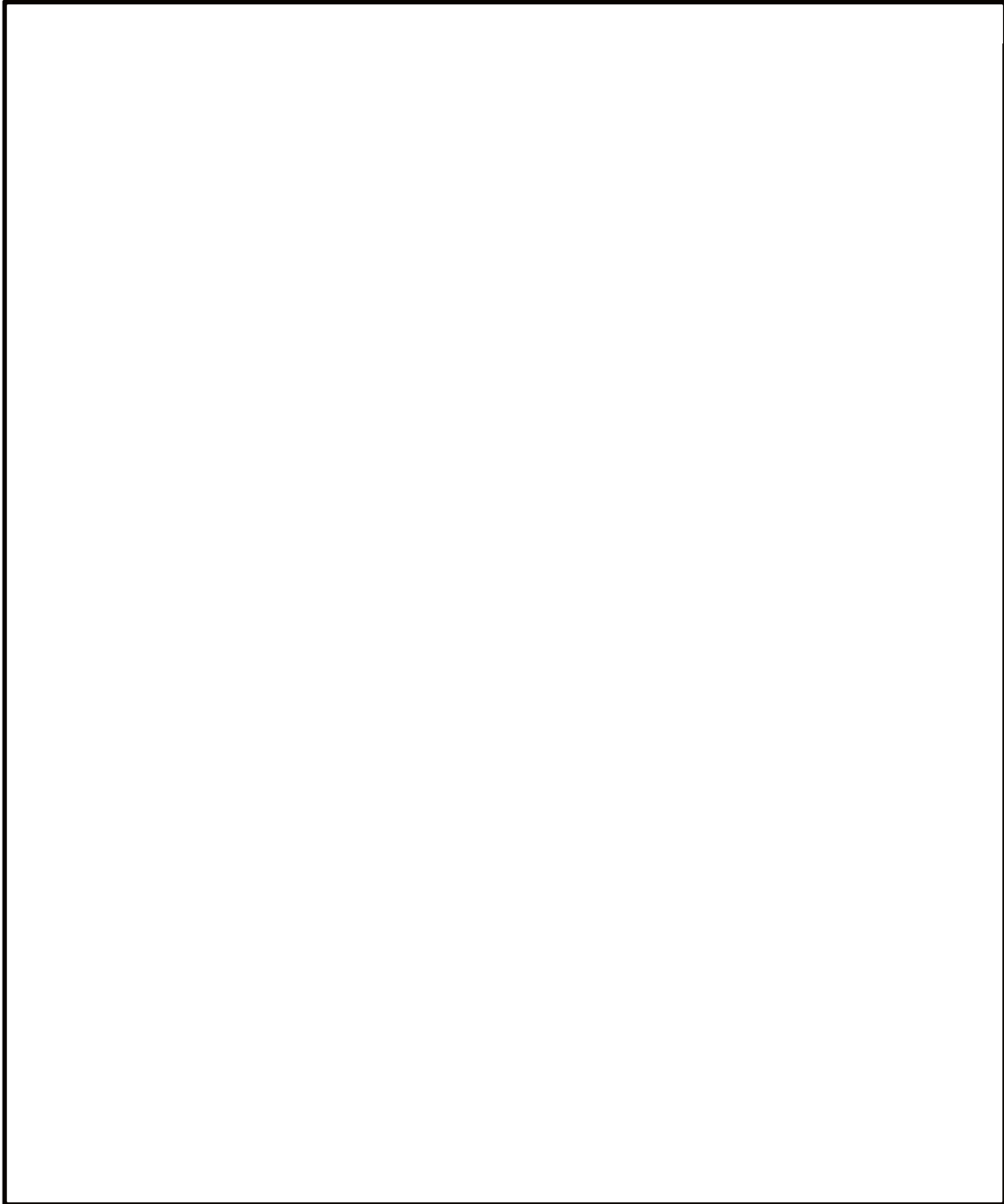
図-別紙1-3 川内2号炉 特別点検実施箇所
(タービン建屋)

- 凡例 (断面方向) (垂直方向)
- | | | |
|---|---|----------------------|
| ▼ | ● | : 強度コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 遮蔽能力コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 中性化深さコアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 塩分浸透コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : アルカリ骨材反応コアサンプル採取箇所 |



図－別紙 1－4 川内 2 号炉 特別点検実施箇所
(原子炉格納施設等、原子炉補助建屋)

- 凡例 (断面方向) (垂直方向)
- | | | |
|---|---|----------------------|
| ▼ | ● | : 強度コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 遮蔽能力コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 中性化深さコアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 塩分浸透コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : アルカリ骨材反応コアサンプル採取箇所 |



図一別紙 1 - 5 川内 2 号炉 特別点検実施箇所
(原子炉格納施設等、原子炉補助建屋、タービン建屋)

凡例 (断面方向) (垂直方向)

- | | | |
|---|---|----------------------|
| ▼ | ● | : 強度コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 遮蔽能力コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 中性化深さコアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 塩分浸透コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : アルカリ骨材反応コアサンプル採取箇所 |

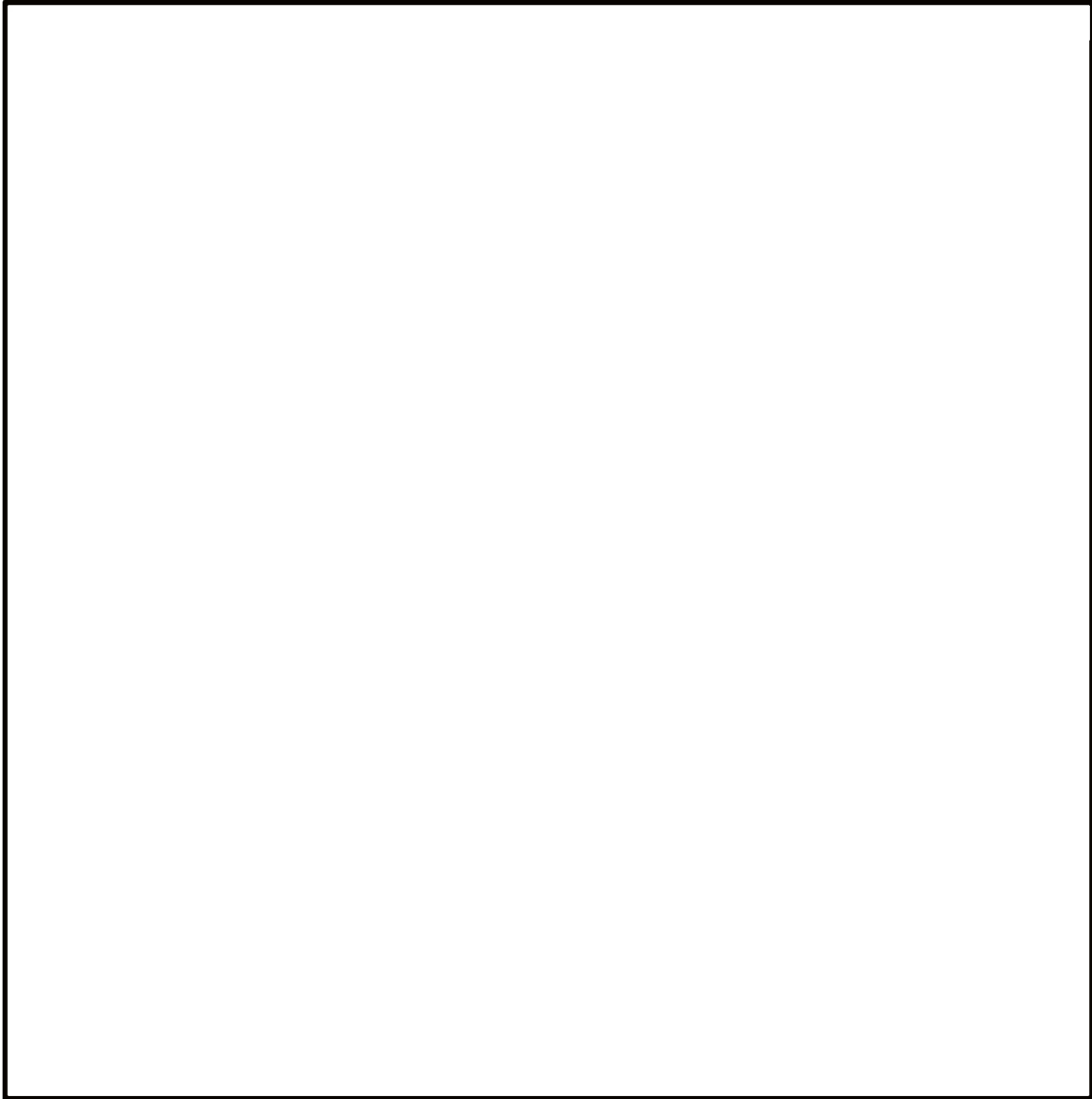


図-別紙1-6 川内2号炉 特別点検実施箇所
(原子炉補助建屋)

凡例 (断面方向) (垂直方向)

- | | | |
|---|---|----------------------|
| ▼ | ● | : 強度コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 遮蔽能力コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 中性化深さコアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 塩分浸透コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : アルカリ骨材反応コアサンプル採取箇所 |

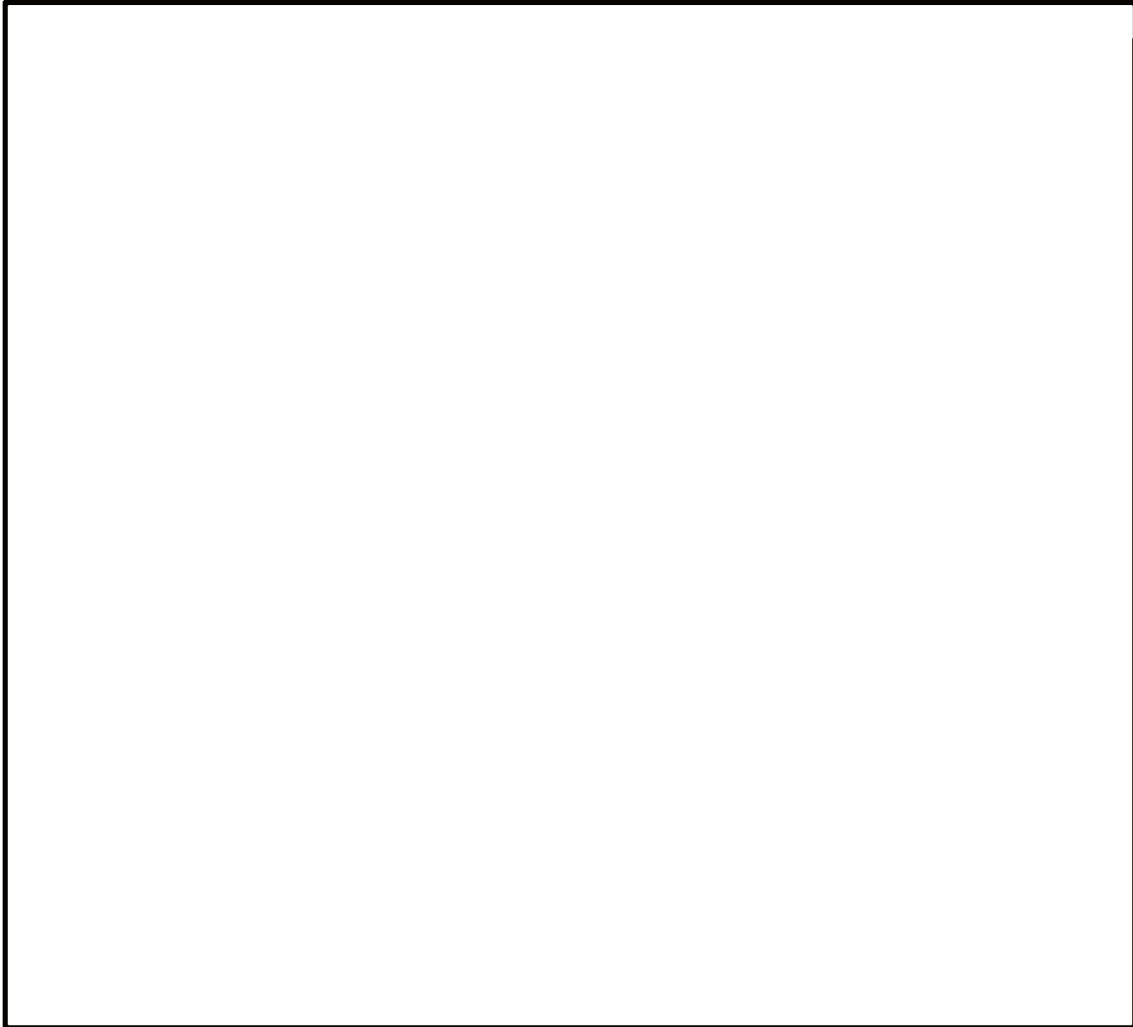
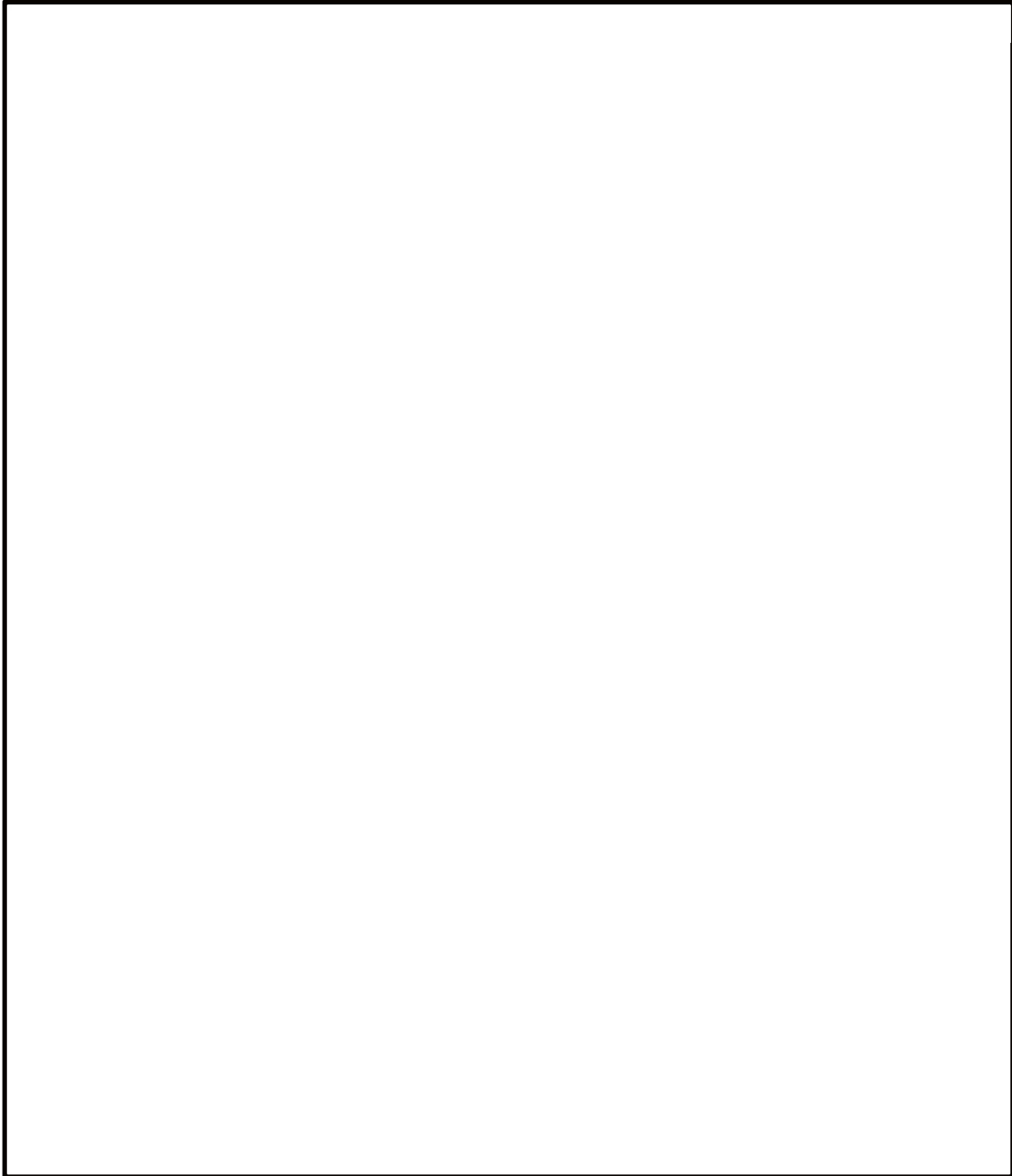


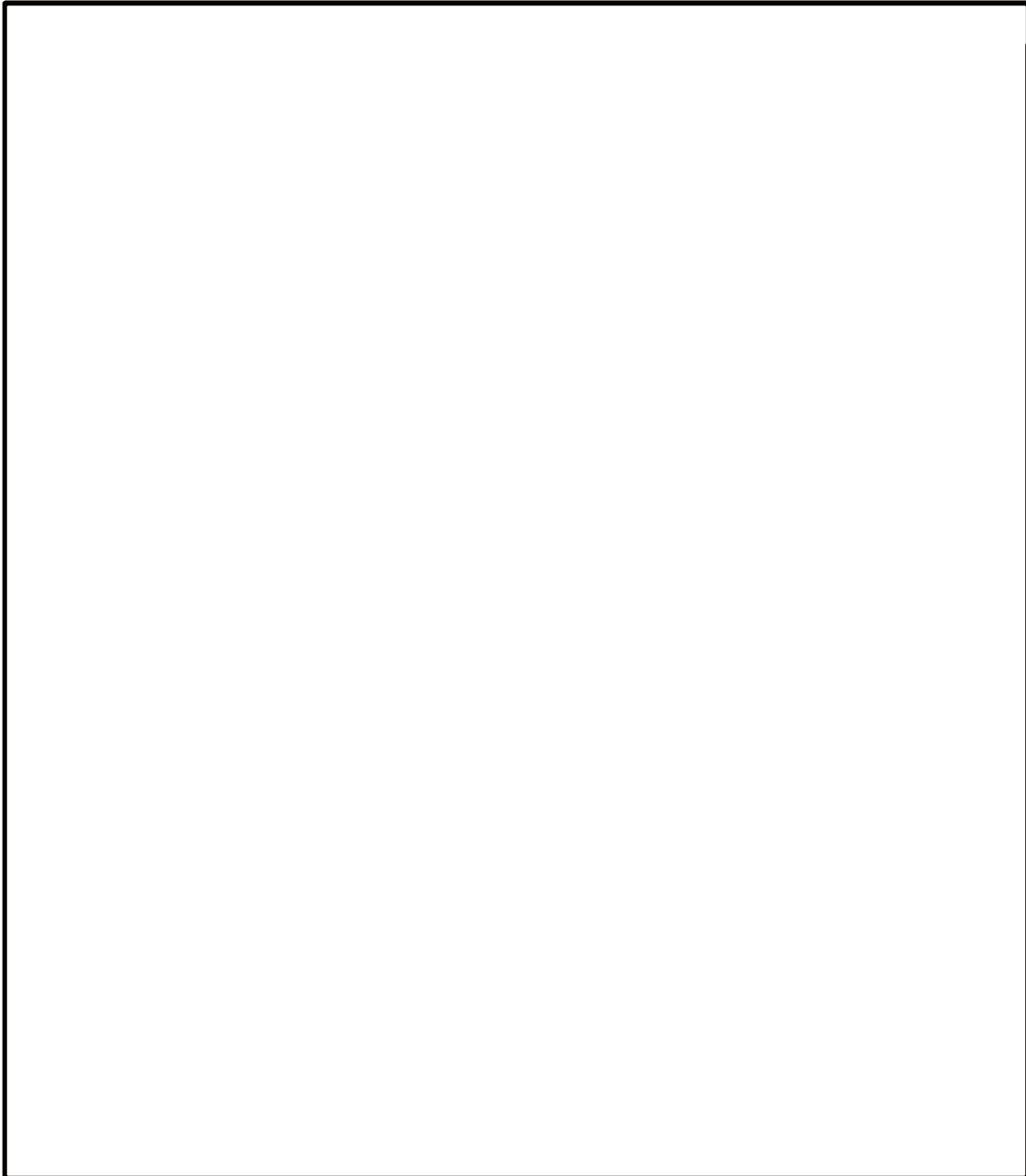
図-別紙1-7 川内2号炉 特別点検実施箇所
(タービン建屋)

- 凡例 (断面方向) (垂直方向)
- | | | |
|---|---|----------------------|
| ▼ | ● | : 強度コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 遮蔽能力コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 中性化深さコアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 塩分浸透コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : アルカリ骨材反応コアサンプル採取箇所 |



図一別紙 1 - 8 川内 2 号炉 特別点検実施箇所
(原子炉補助建屋)

- 凡例 (断面方向) (垂直方向)
- | | | |
|---|---|----------------------|
| ▼ | ● | : 強度コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 遮蔽能力コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 中性化深さコアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 塩分浸透コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : アルカリ骨材反応コアサンプル採取箇所 |



図一別紙 1 - 9 川内 2 号炉 特別点検実施箇所
(原子炉格納施設等)

- 凡例 (断面方向) (垂直方向)
- | | | |
|---|---|----------------------|
| ▼ | ● | : 強度コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 遮蔽能力コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 中性化深さコアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 塩分浸透コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : アルカリ骨材反応コアサンプル採取箇所 |

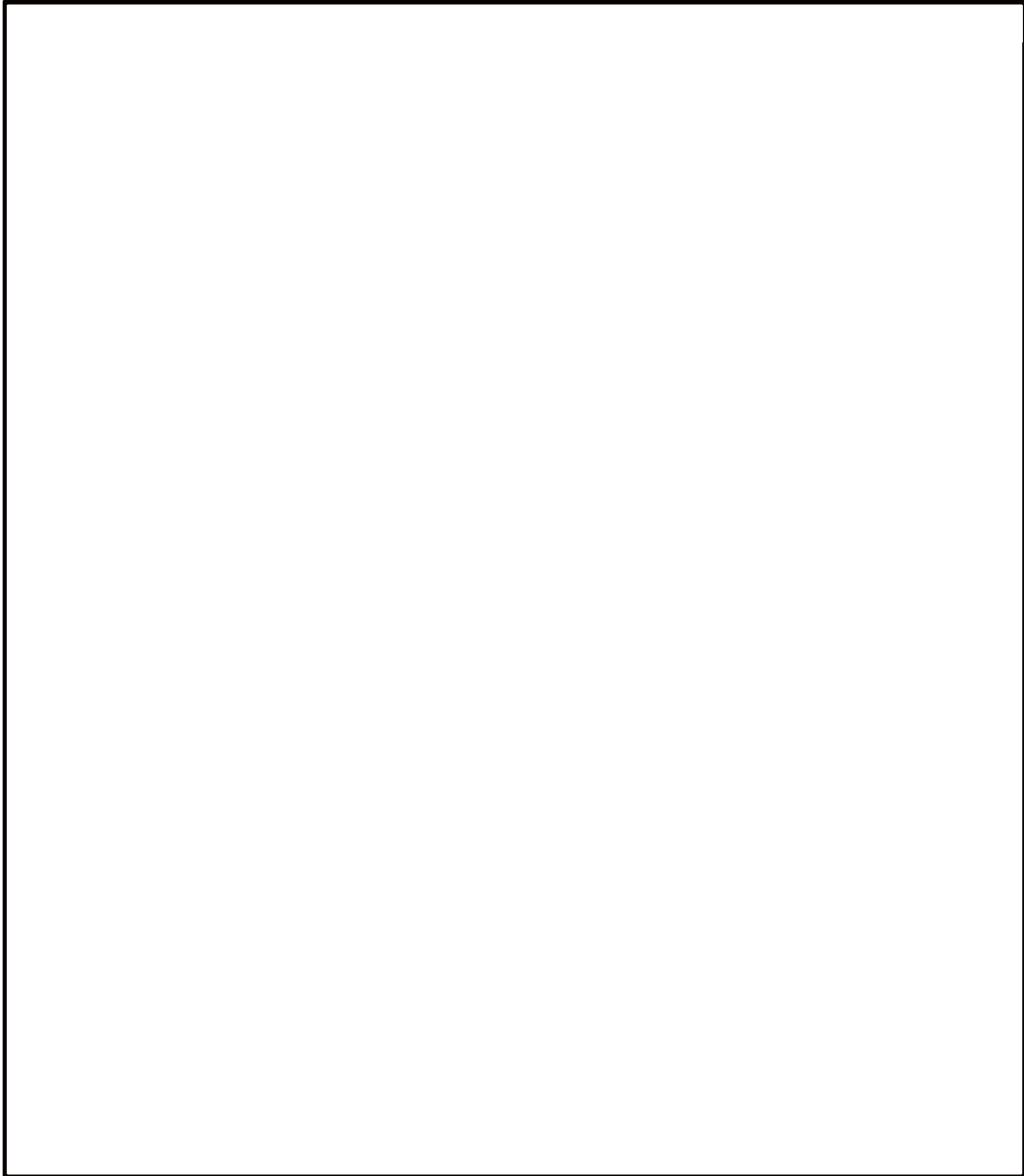


図-別紙1-10 川内2号炉 特別点検実施箇所
(原子炉格納施設等)

- 凡例 (断面方向) (垂直方向)
- | | | |
|---|---|----------------------|
| ▼ | ● | : 強度コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 遮蔽能力コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 中性化深さコアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 塩分浸透コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : アルカリ骨材反応コアサンプル採取箇所 |

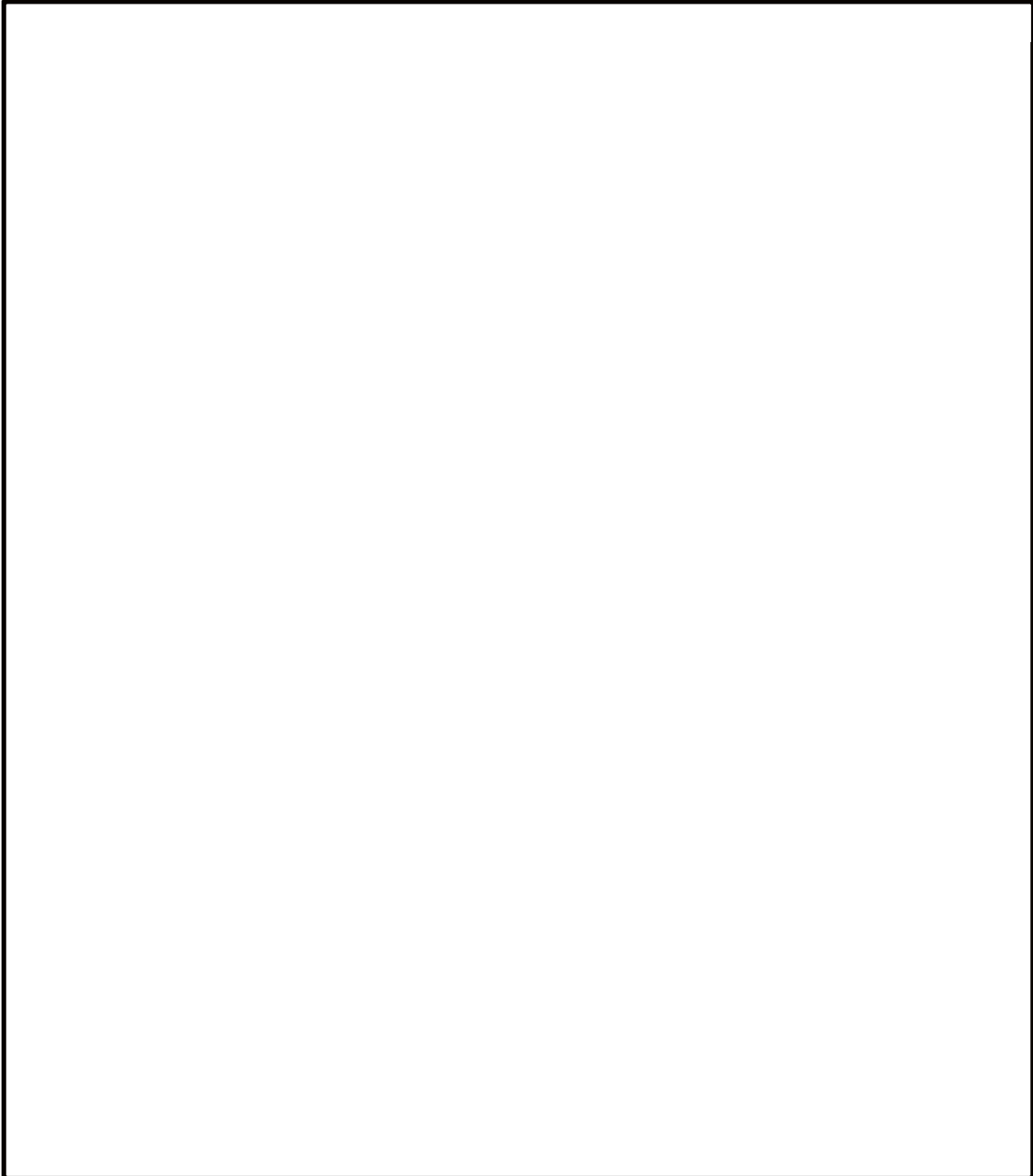


図-別紙1-11 川内2号炉 特別点検実施箇所
(原子炉格納施設等)

凡例 (断面方向) (垂直方向)

- | | | |
|---|---|----------------------|
| ▼ | ● | : 強度コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 遮蔽能力コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 中性化深さコアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 塩分浸透コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : アルカリ骨材反応コアサンプル採取箇所 |

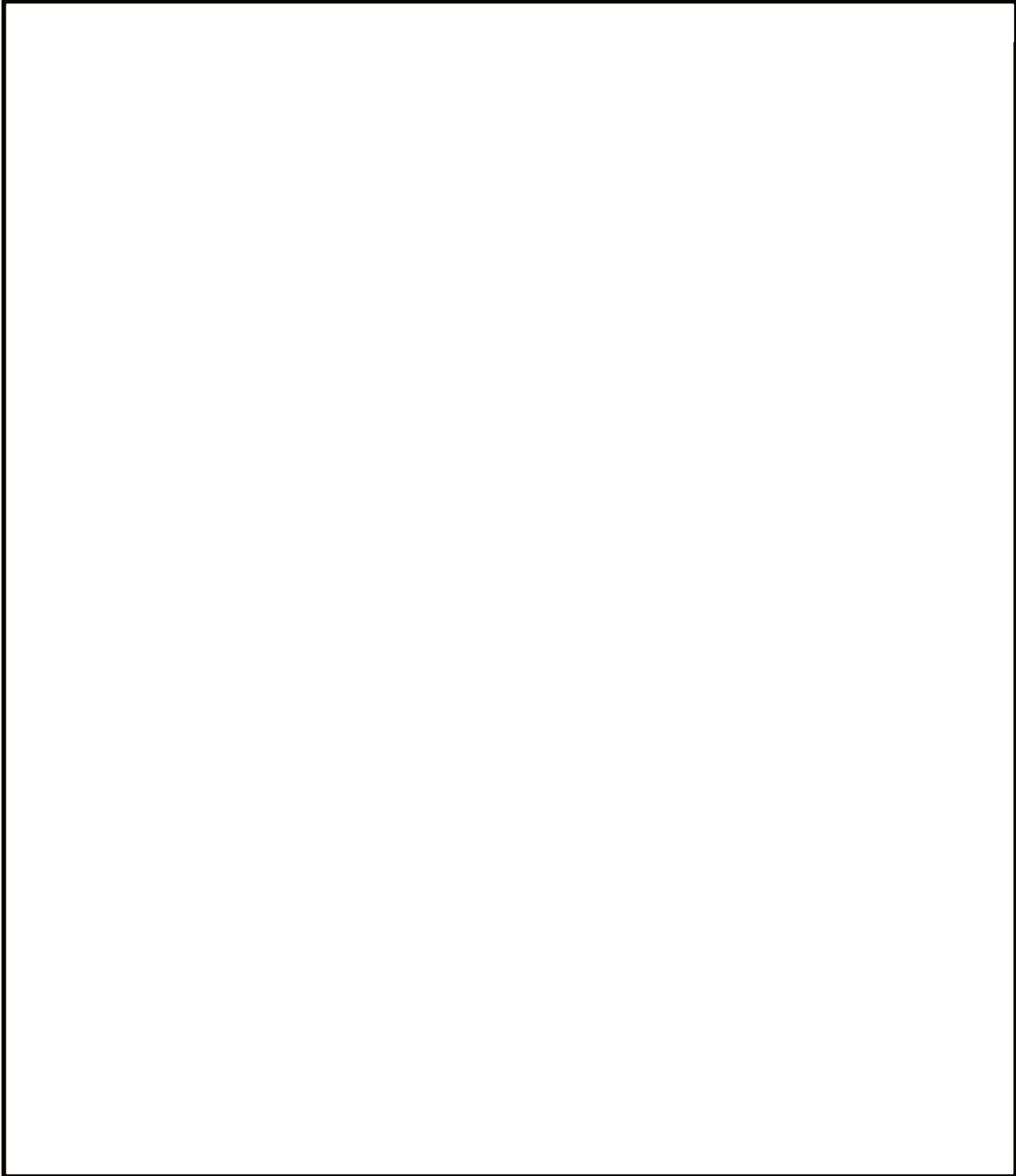


図-別紙1-12 川内2号炉 特別点検実施箇所
(取水槽 (海中帯、干満帯、気中帯))

凡例 (断面方向) (垂直方向)

- | | | |
|---|---|----------------------|
| ▼ | ● | : 強度コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 遮蔽能力コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 中性化深さコアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 塩分浸透コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : アルカリ骨材反応コアサンプル採取箇所 |

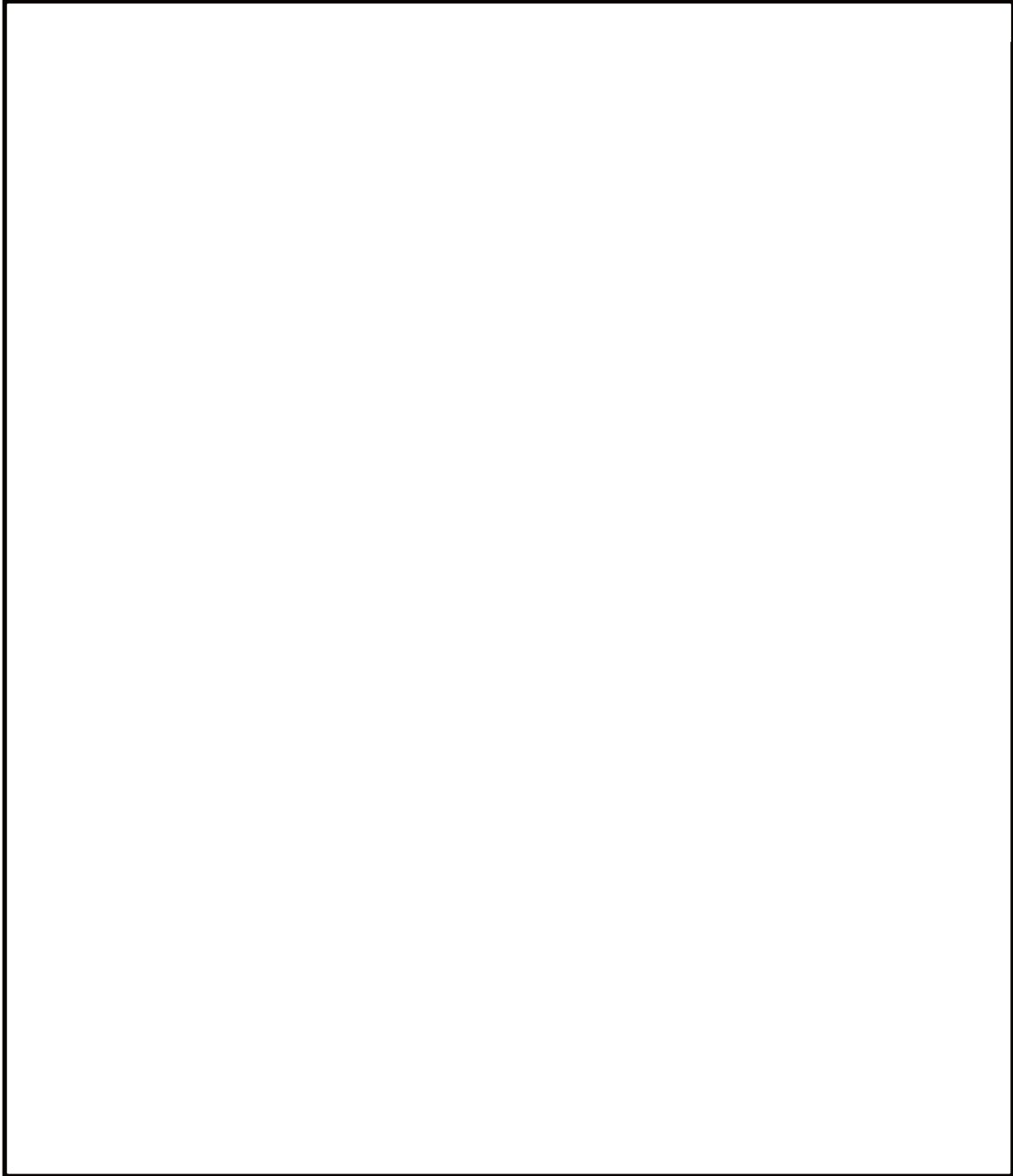


図-別紙1-13 川内2号炉 特別点検実施箇所
(取水槽 (海中帯、干満帯、気中帯))

凡例 (断面方向) (垂直方向)

- | | | |
|---|---|----------------------|
| ▼ | ● | : 強度コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 遮蔽能力コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 中性化深さコアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : 塩分浸透コアサンプル採取箇所 |
| ▼ | ● | : アルカリ骨材反応コアサンプル採取箇所 |

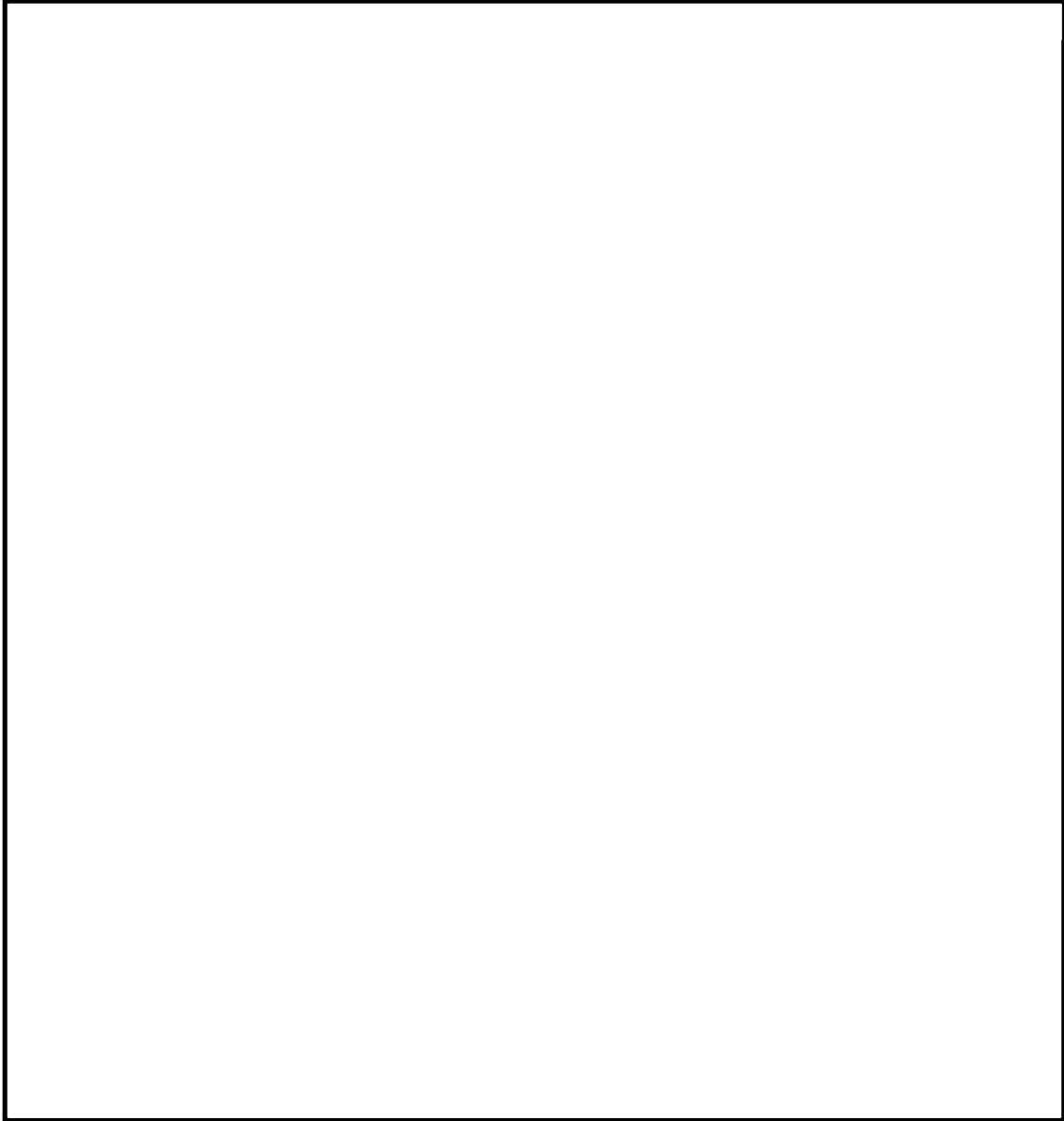
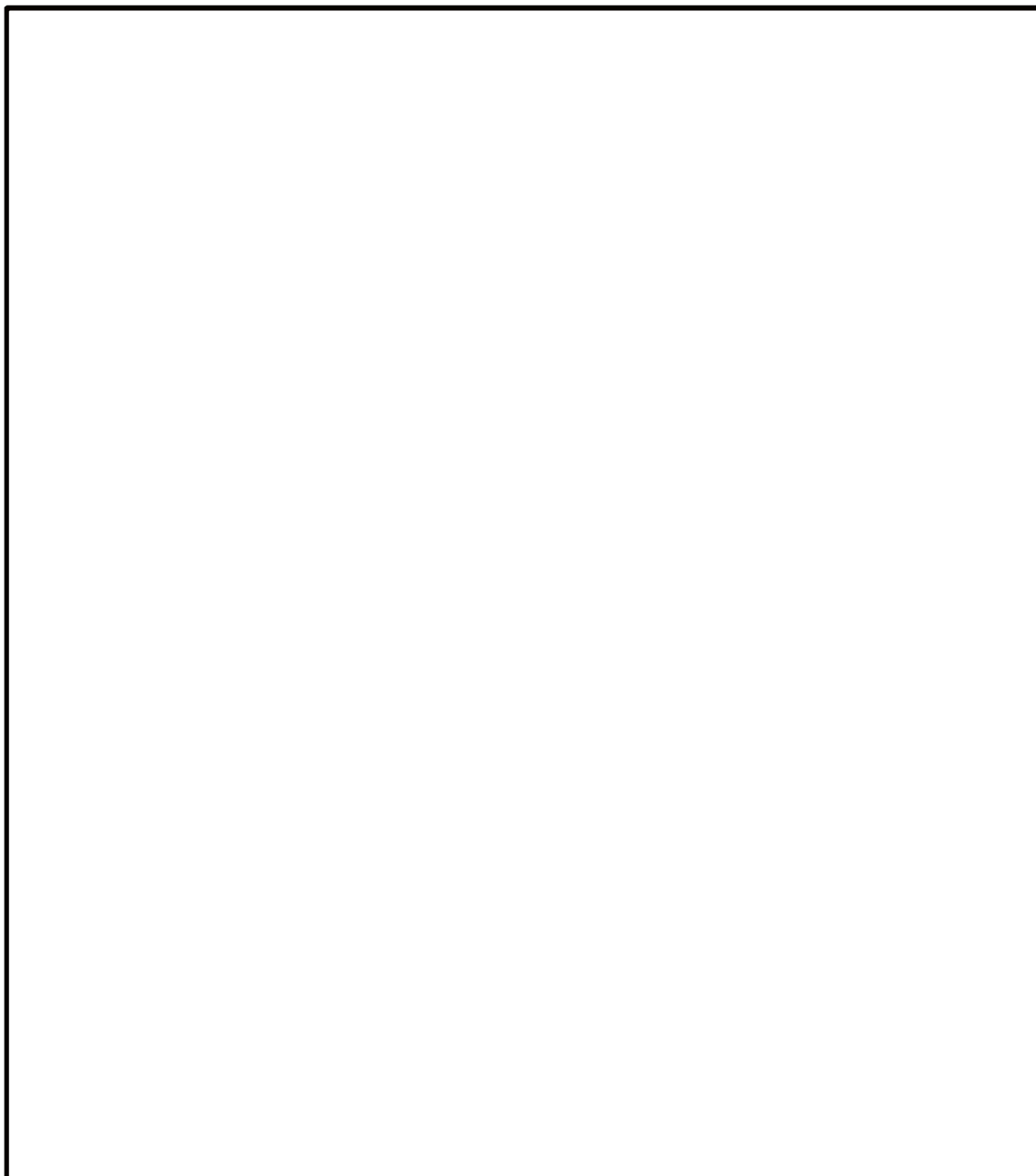


図-別紙1-14 川内2号炉 特別点検実施箇所
(非常用ディーゼル発電用燃料油貯油槽基礎、燃料取替用水タンク基礎)

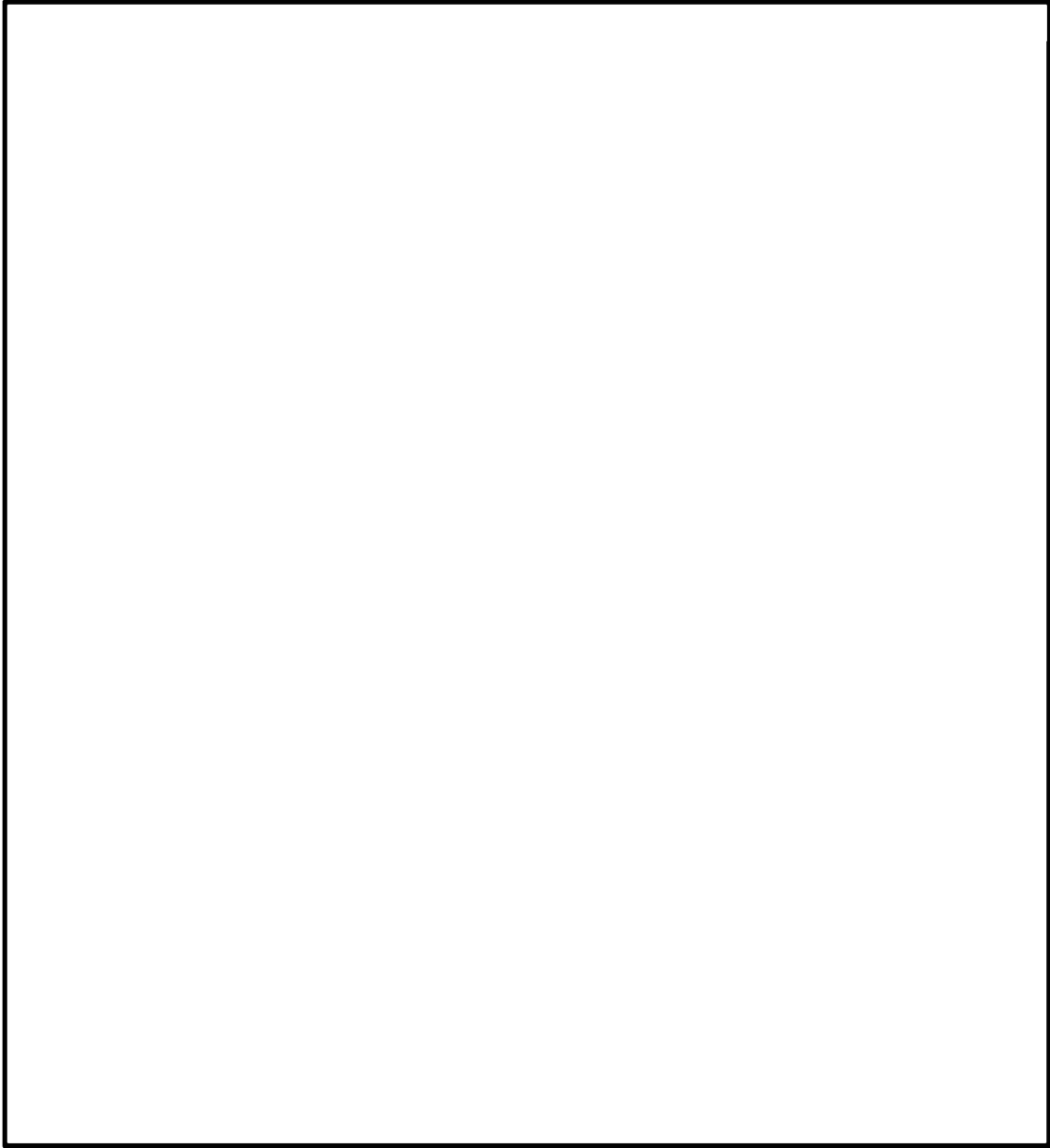
別紙 2. 遮蔽能力における非破壊試験実施箇所

凡例 (断面方向) (垂直方向)
▼ ● : 非破壊試験実施箇所



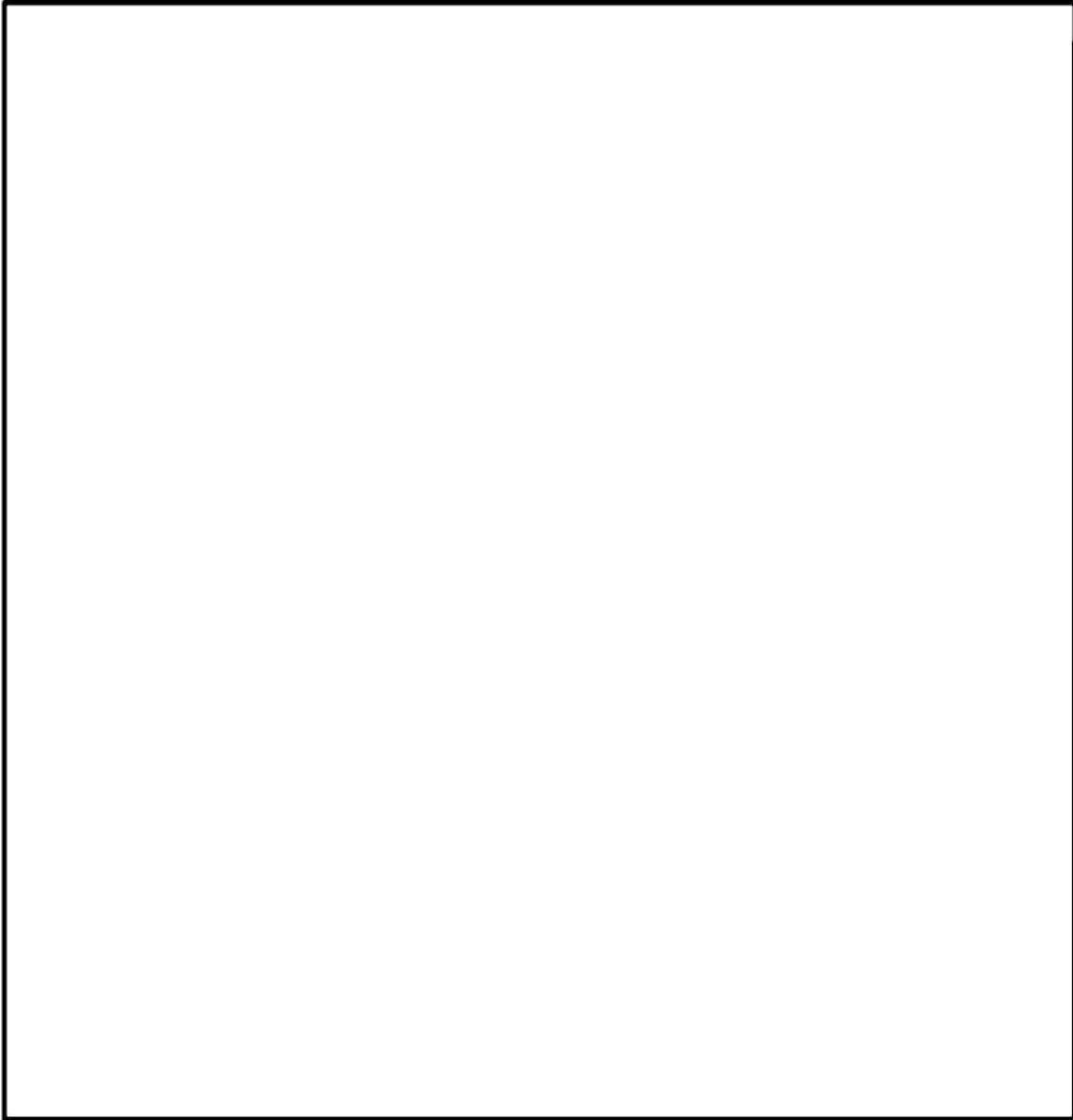
図－別紙 2－1 川内 2 号炉 非破壊試験実施箇所 (遮蔽能力)
(原子炉格納施設等)

凡例 (断面方向) (垂直方向)
▼ ● : 非破壊試験実施箇所



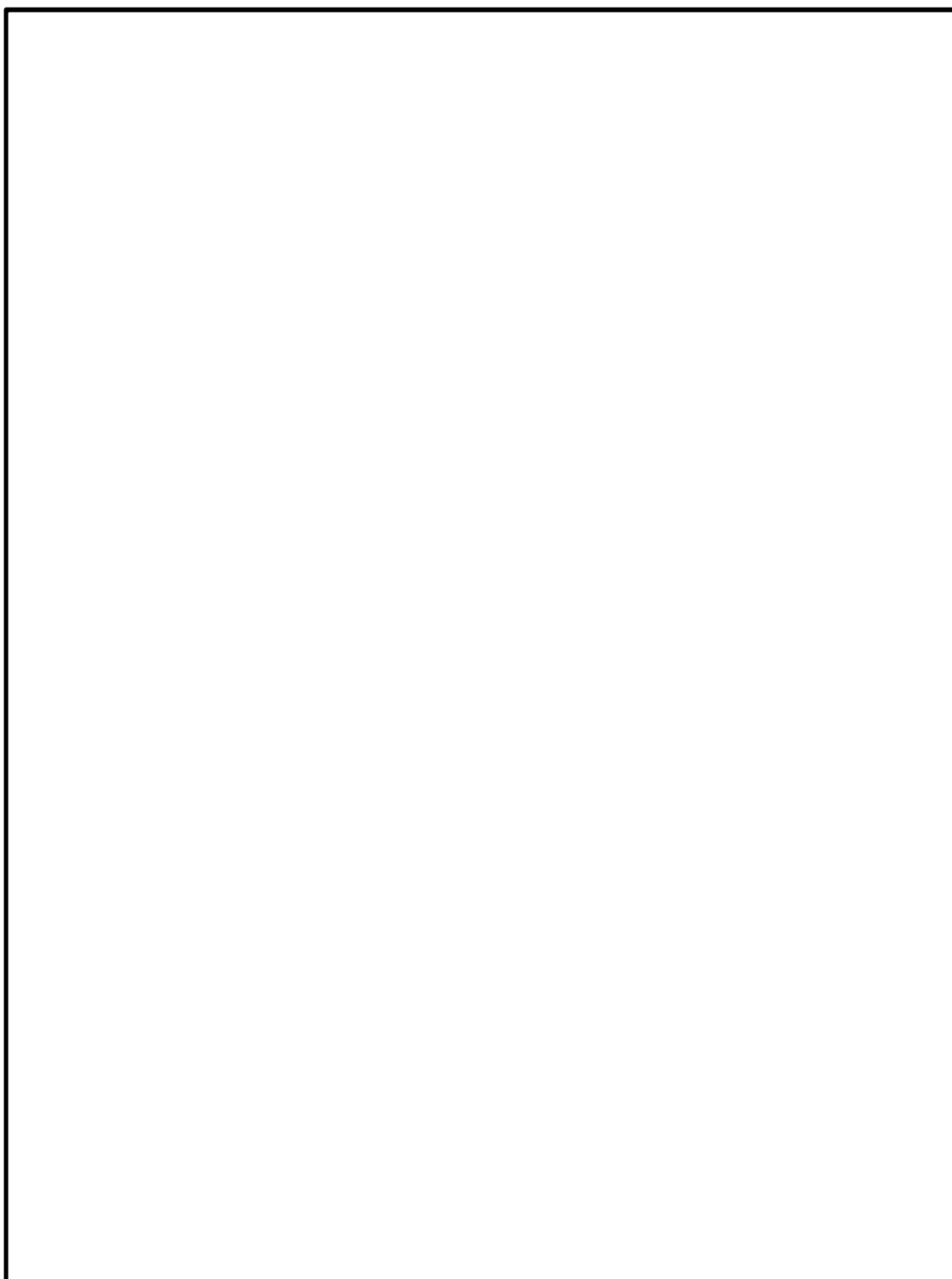
図一別紙 2 - 2 川内 2 号炉 非破壊試験実施箇所 (遮蔽能力)
(原子炉補助建屋)

凡例 (断面方向) (垂直方向)
▼ ● : 非破壊試験実施箇所

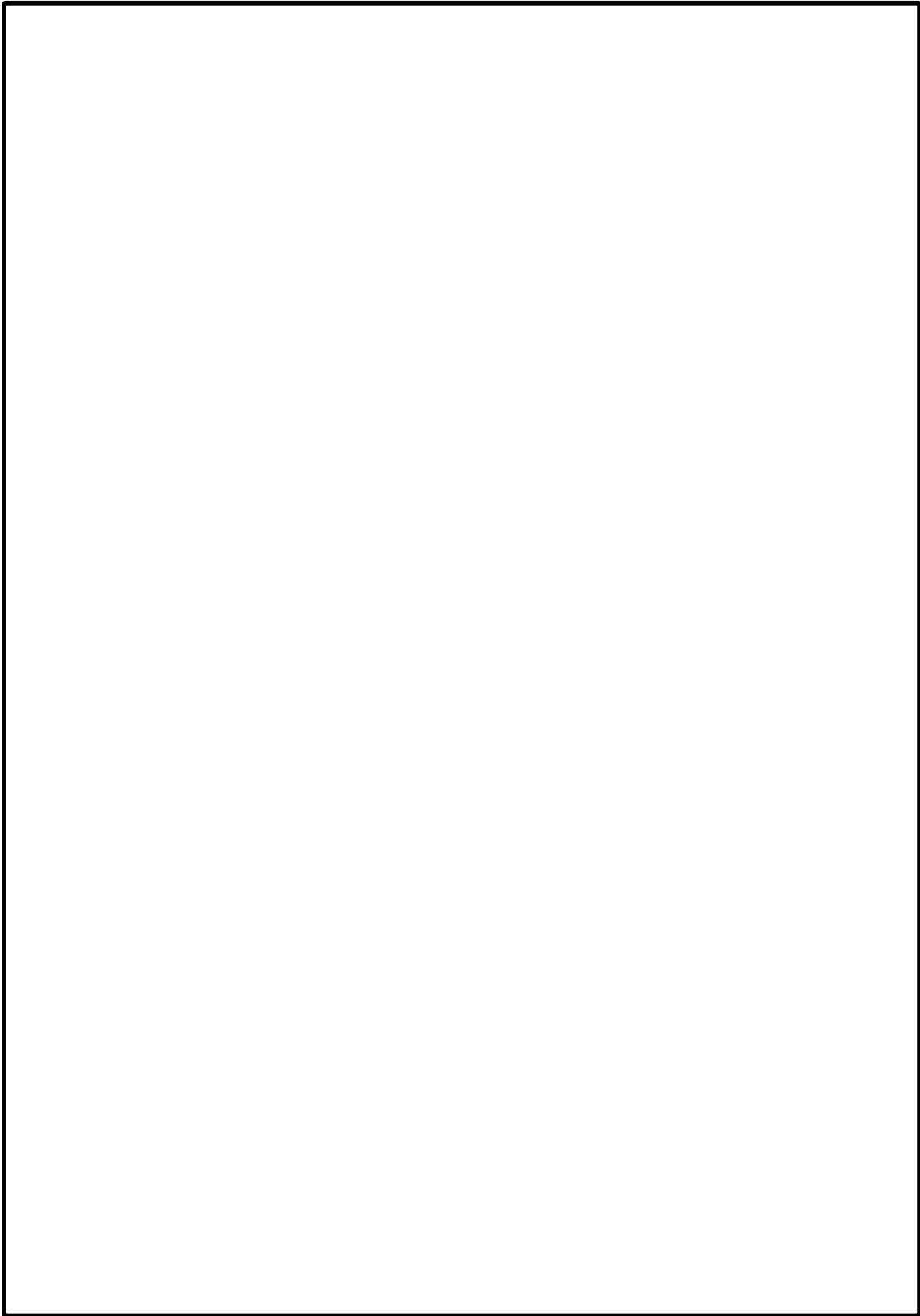


図－別紙 2－3 川内 2 号炉 非破壊試験実施箇所 (遮蔽能力)
(原子炉格納施設等)

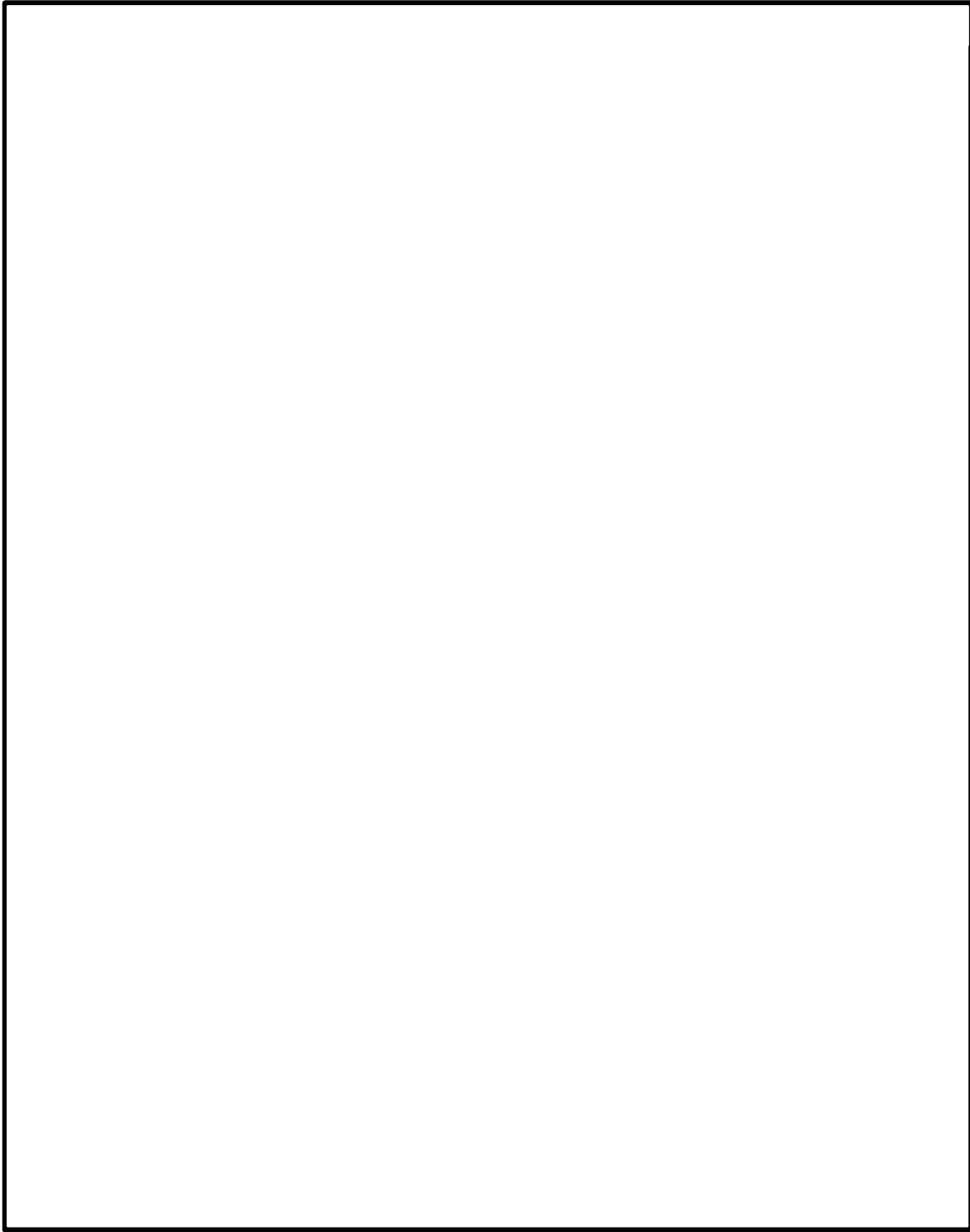
別紙 3. 空気環境測定箇所



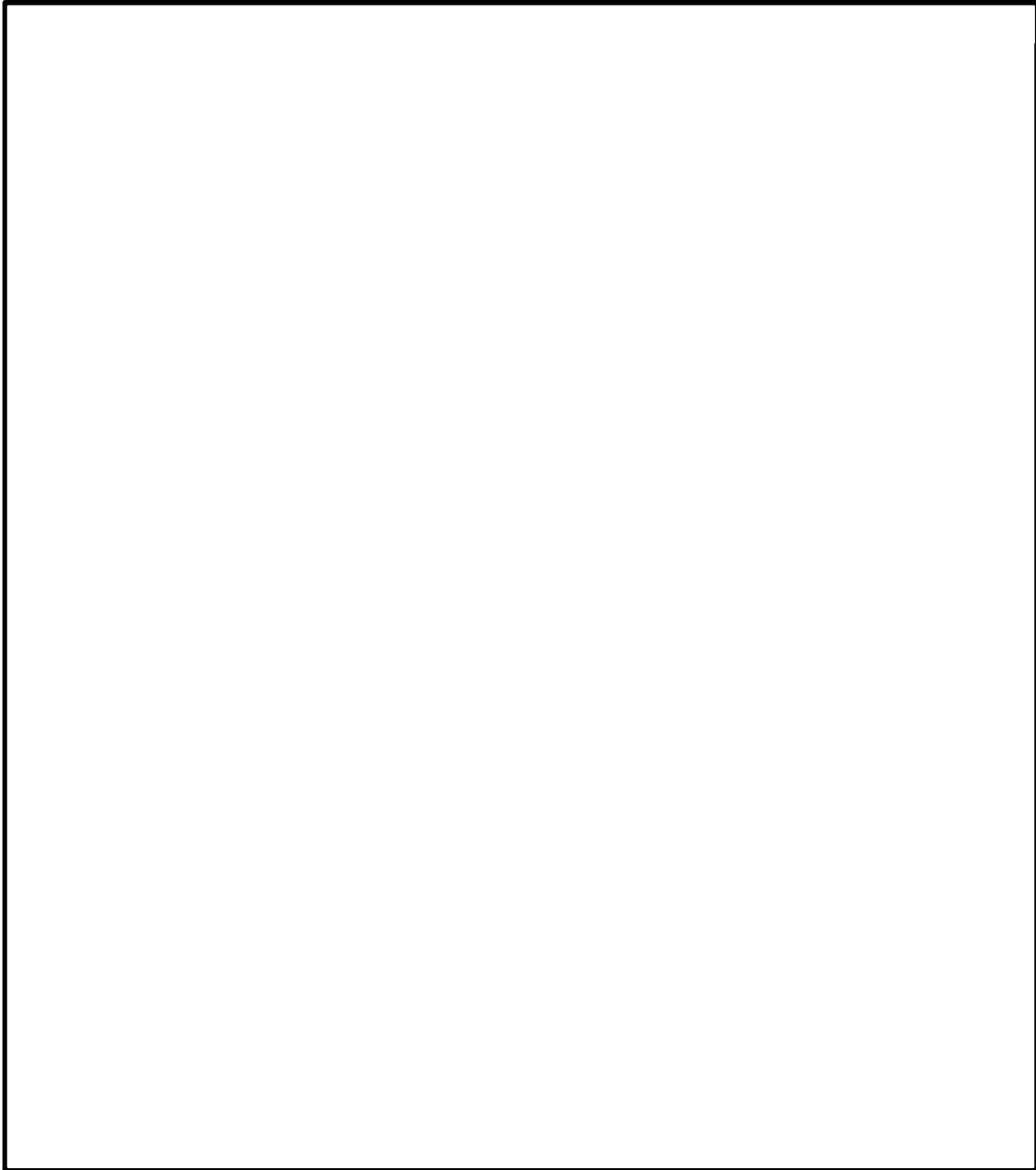
図－別紙 3－1 川内 2 号炉 空気環境測定箇所
(原子炉格納施設等、原子炉補助建屋)



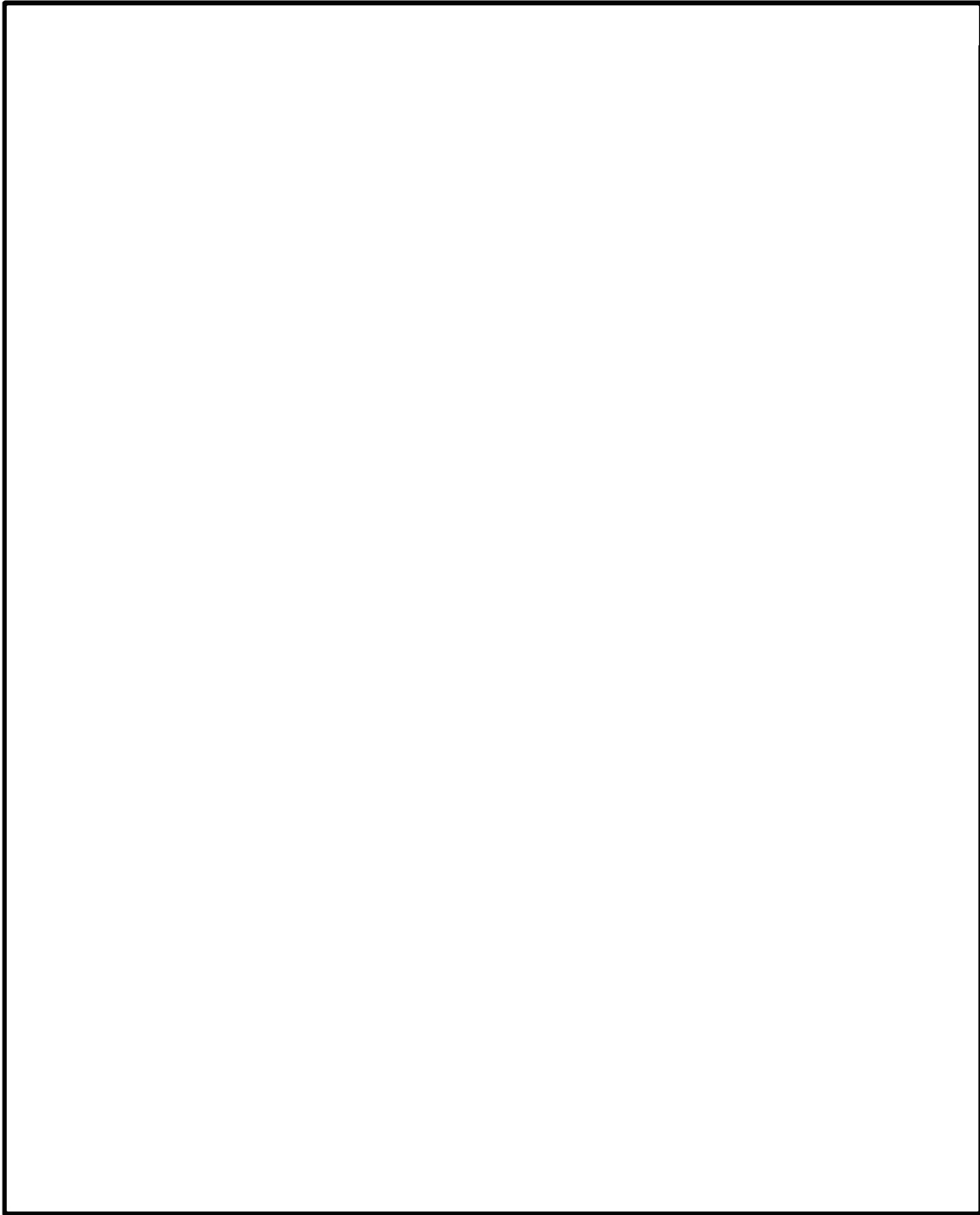
図－別紙 3－2 川内 2 号炉 空気環境測定箇所
(原子炉格納施設等、原子炉補助建屋)



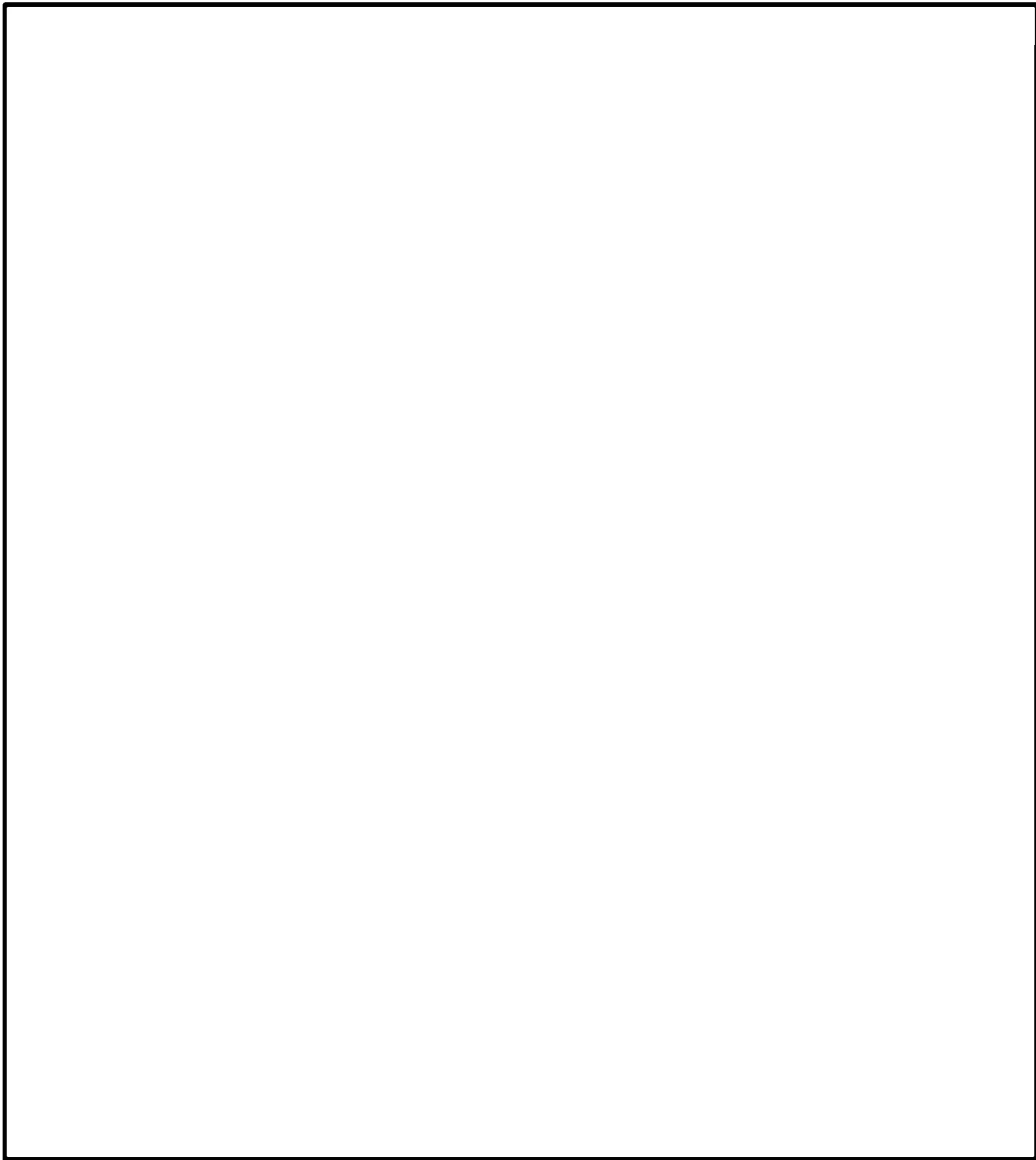
図－別紙 3－3 川内 2 号炉 空気環境測定箇所
(原子炉格納施設等、原子炉補助建屋、タービン建屋)



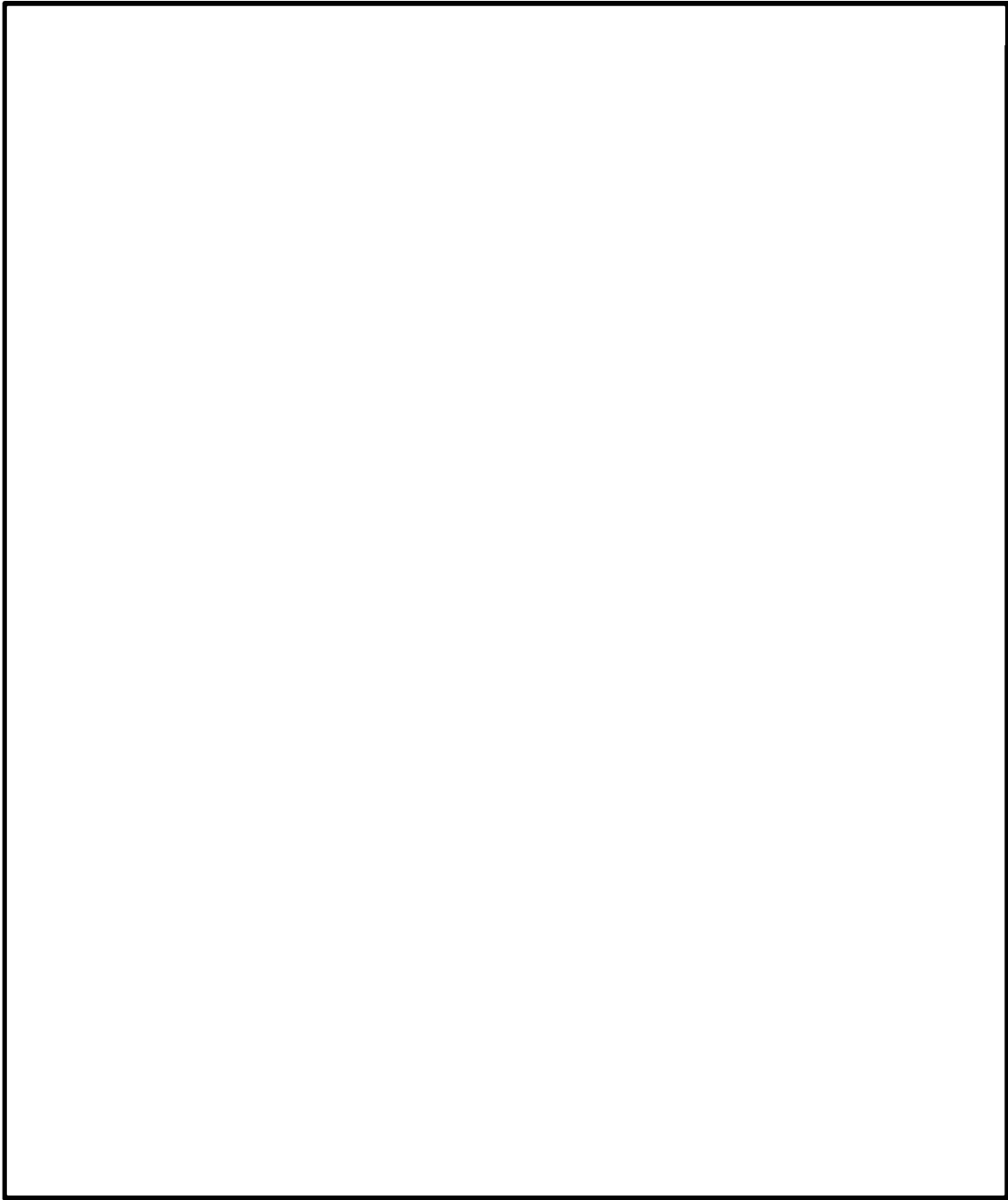
図－別紙 3－4 川内 2 号炉 空気環境測定箇所
(燃料取替用水タンク基礎 (配管トレンチ))



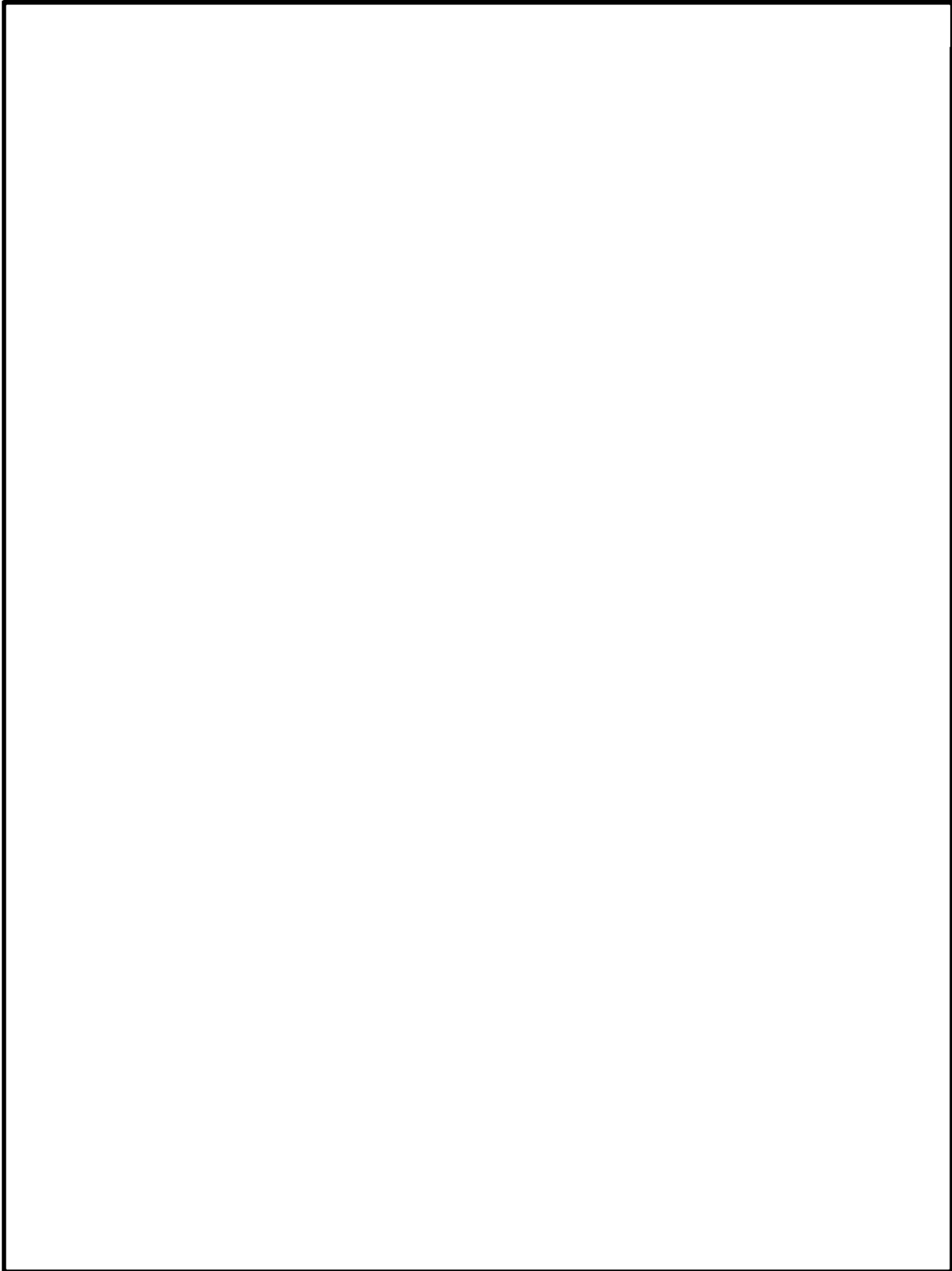
図－別紙 3－5 川内 2 号炉 空気環境測定箇所
(原子炉格納施設等、原子炉補助建屋、タービン建屋)



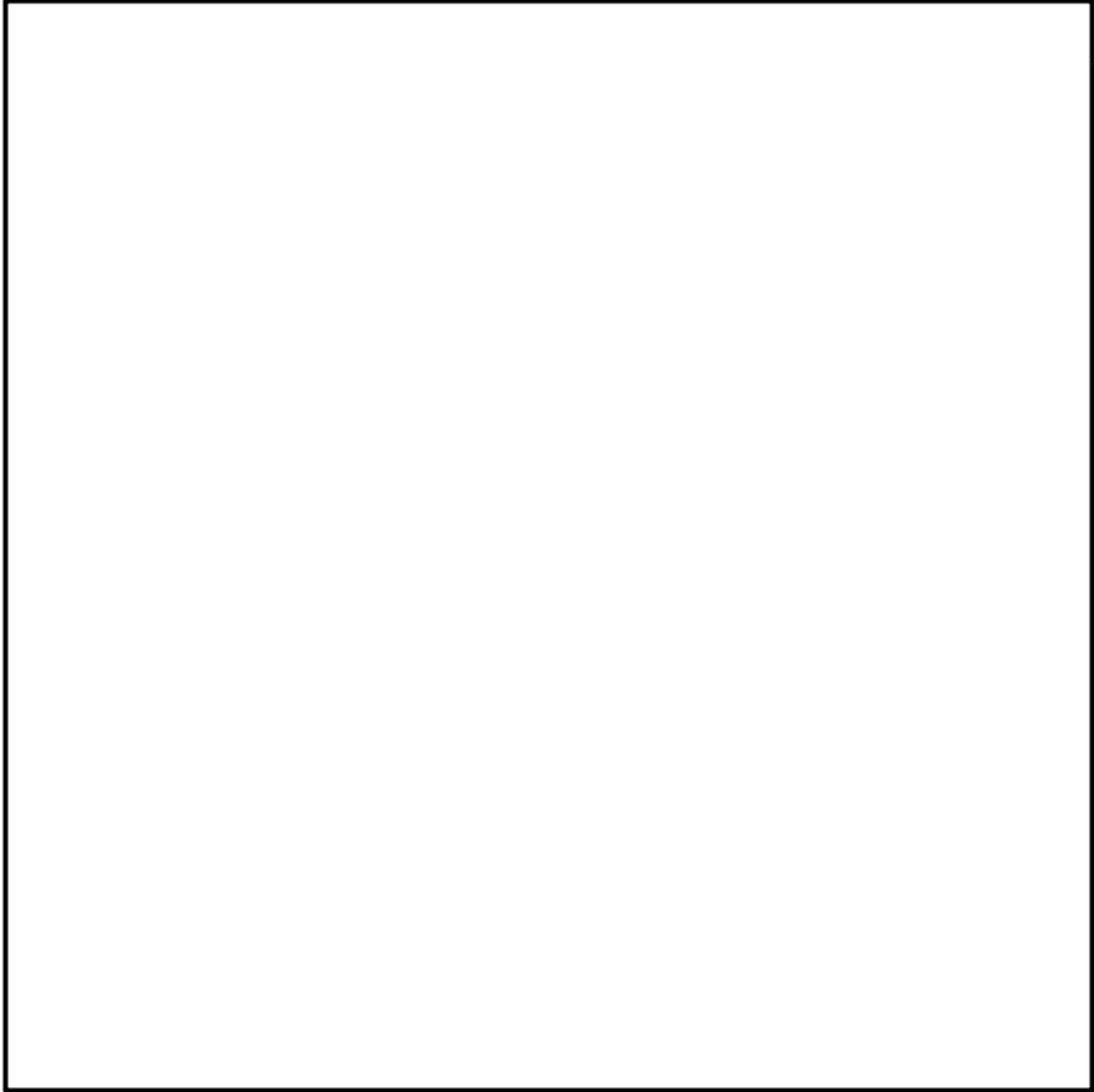
図－別紙 3－6 川内 2 号炉 空気環境測定箇所
(原子炉格納施設等、原子炉補助建屋、タービン建屋)



図一別紙3-7 川内2号炉 空気環境測定箇所
(原子炉補助建屋)



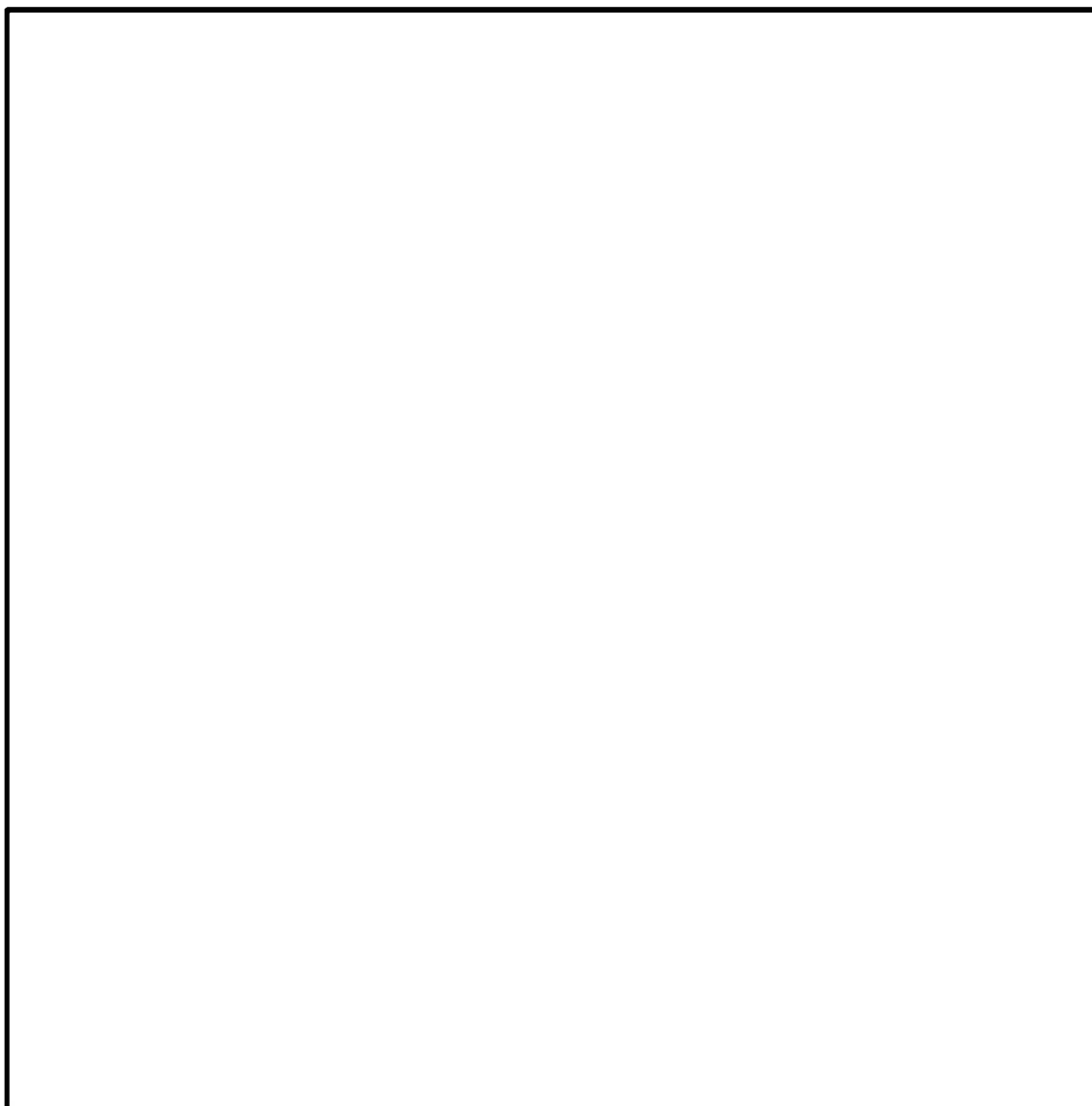
図－別紙 3－8 川内 2 号炉 空気環境測定箇所
(タービン建屋)



図－別紙 3－9 川内 2 号炉 空気環境測定箇所
(取水槽)

別紙 4. 中性化深さにおける非破壊試験実施箇所

凡例 (断面方向) (垂直方向)
▼ ● : 非破壊試験実施箇所



図－別紙 4－1 川内 2 号炉 非破壊試験実施箇所 (中性化深さ)
(原子炉格納施設等、原子炉補助建屋)

凡例 (断面方向) (垂直方向)
▼ ● : 非破壊試験実施箇所

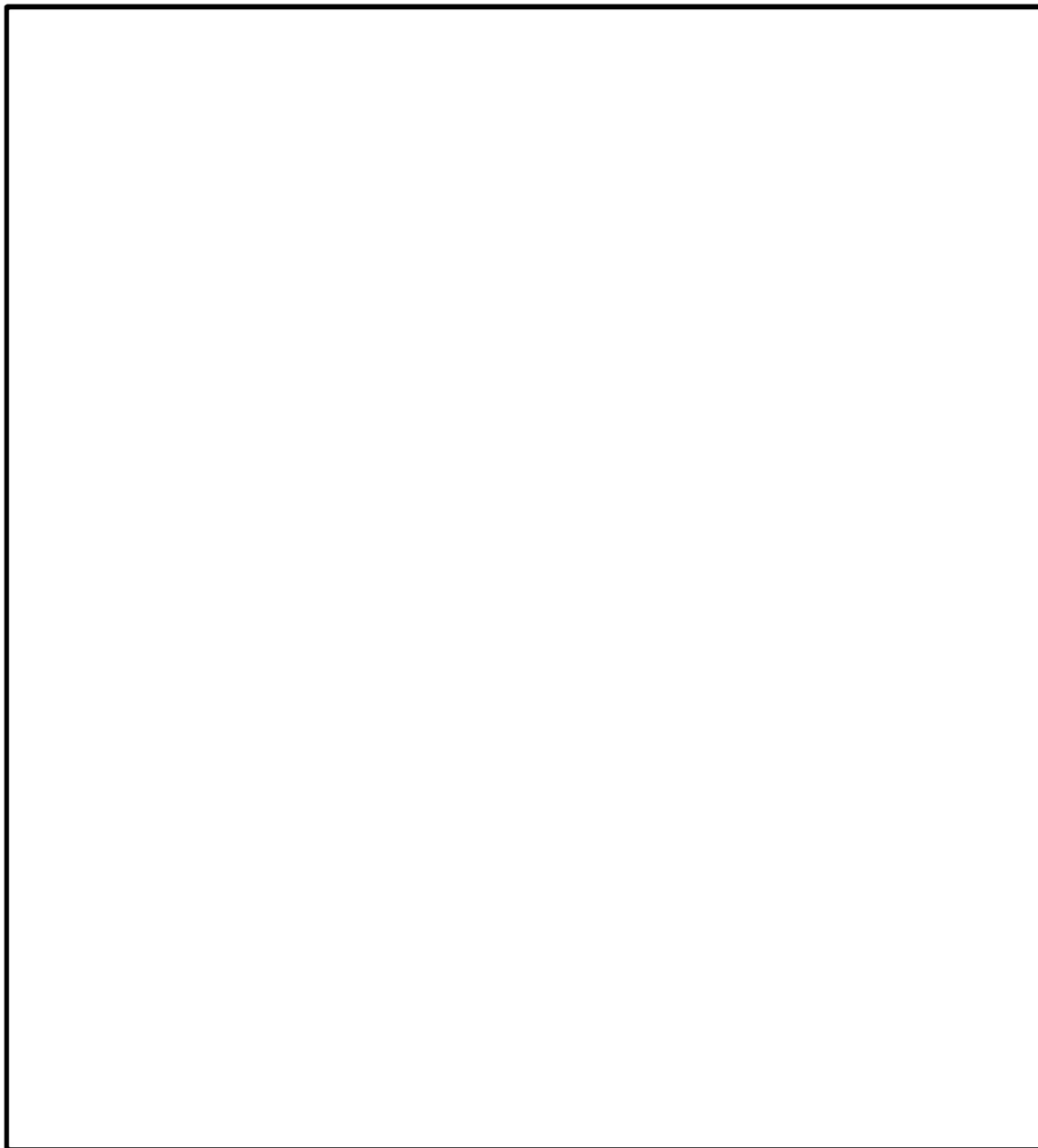
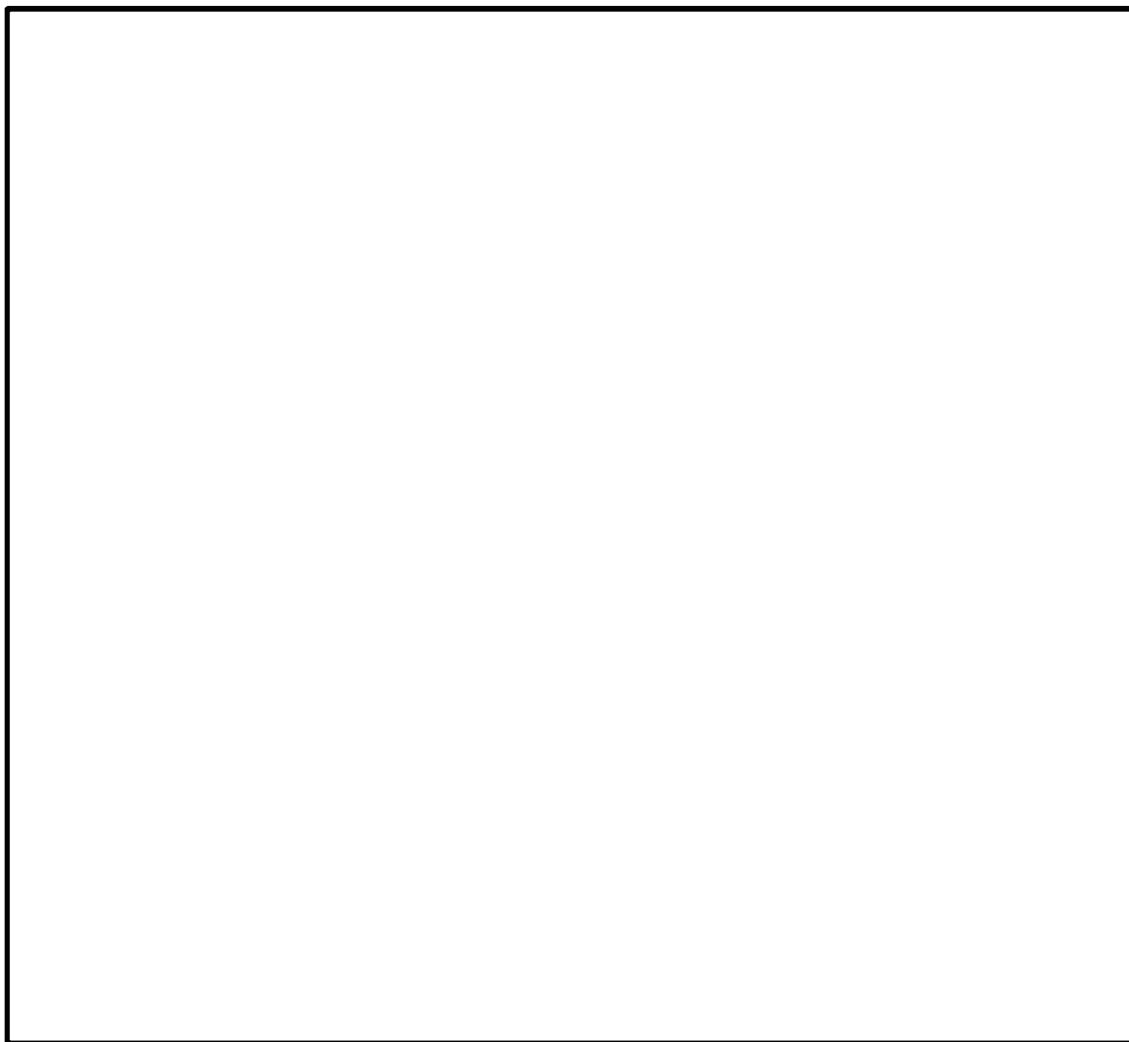


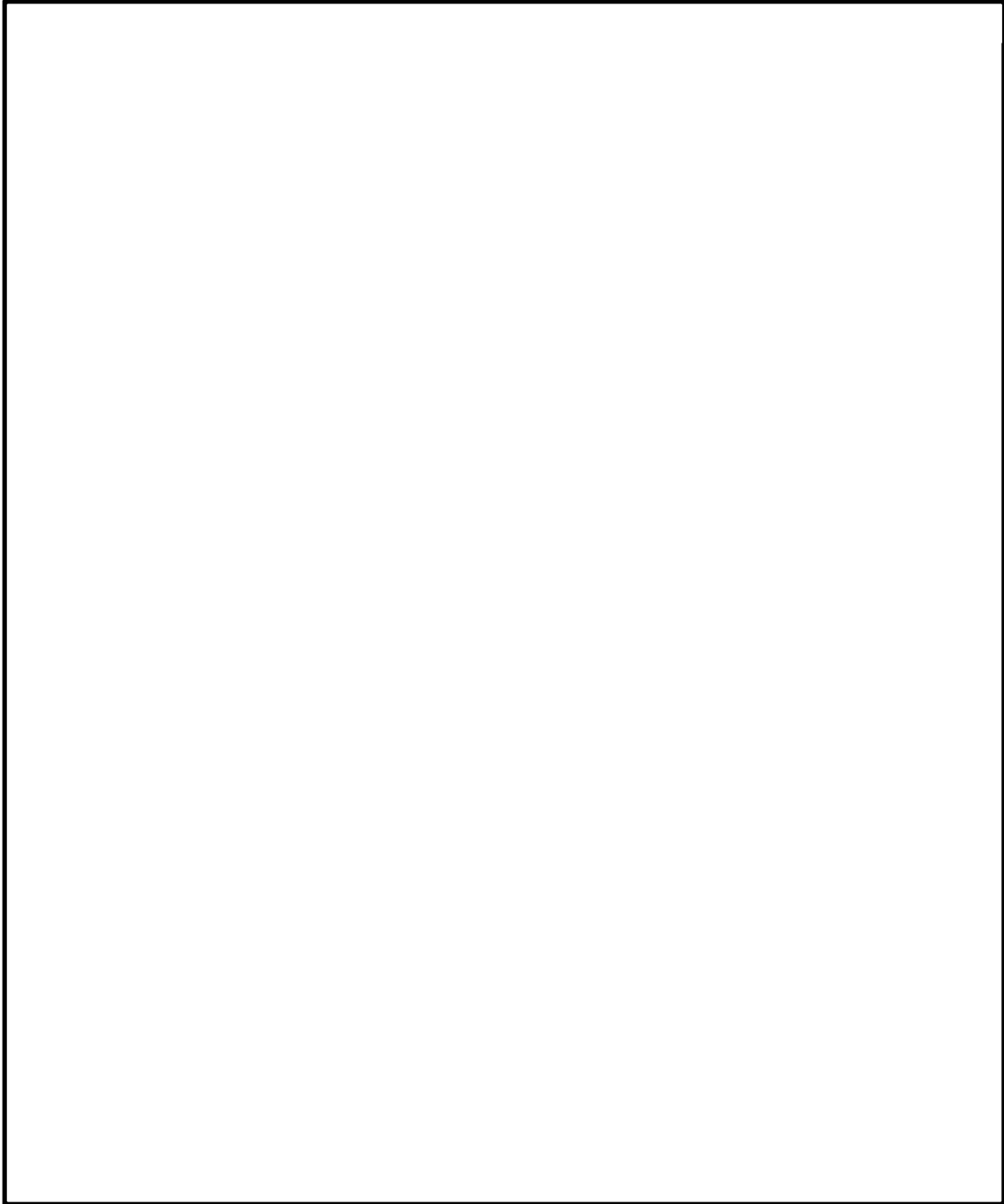
図-別紙4-2 川内2号炉 非破壊試験実施箇所(中性化深さ)
(原子炉補助建屋)

凡例 (断面方向) (垂直方向)
▼ ● : 非破壊試験実施箇所



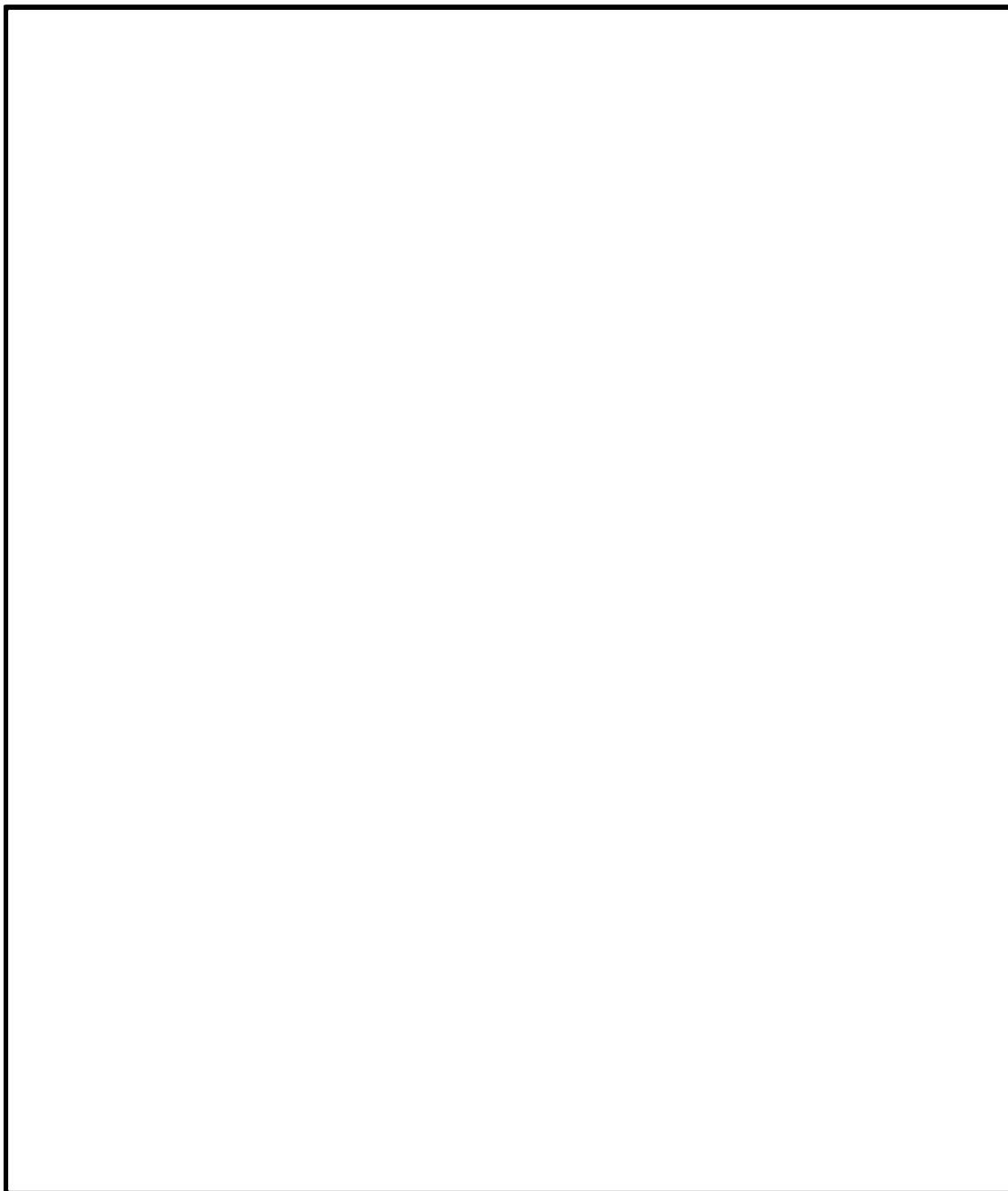
図－別紙 4－3 川内 2 号炉 非破壊試験実施箇所 (中性化深さ)
(タービン建屋)

凡例 (断面方向) (垂直方向)
▼ ● : 非破壊試験実施箇所



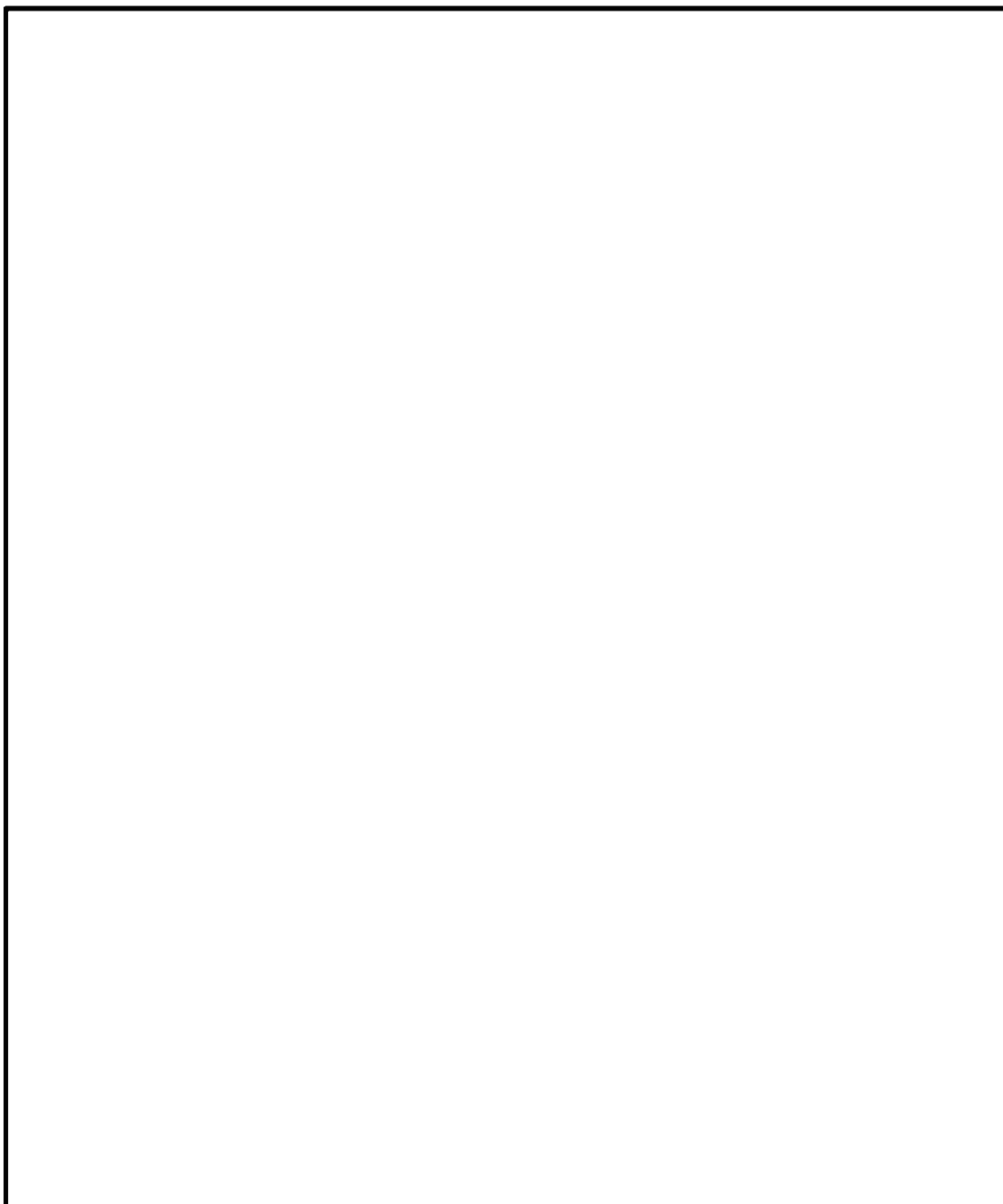
図一別紙4-4 川内2号炉 非破壊試験実施箇所(中性化深さ)
(原子炉格納施設等、原子炉補助建屋)

凡例 (断面方向) (垂直方向)
▼ ● : 非破壊試験実施箇所



図一別紙4-5 川内2号炉 非破壊試験実施箇所(中性化深さ)
(タービン建屋)

凡例 (断面方向) (垂直方向)
▼ ● : 非破壊試験実施箇所



図－別紙４－６ 川内２号炉 非破壊試験実施箇所（中性化深さ）
（原子炉格納施設等）

凡例 (断面方向) (垂直方向)
▼ ● : 非破壊試験実施箇所

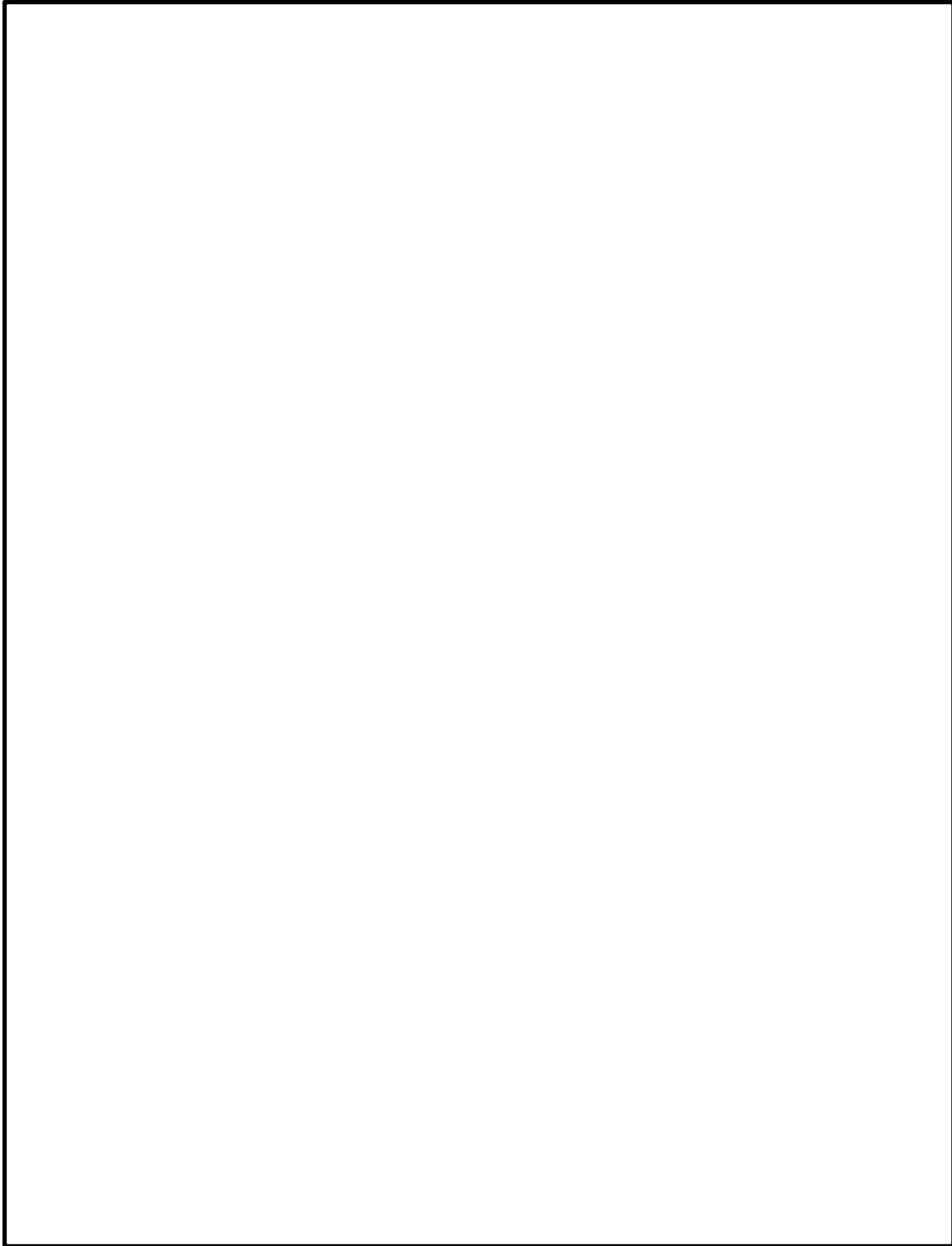


図-別紙4-7 川内2号炉 非破壊試験実施箇所(中性化深さ)
(取水槽(干満帯、気中帯))

凡例 (断面方向) (垂直方向)
▼ ● : 非破壊試験実施箇所

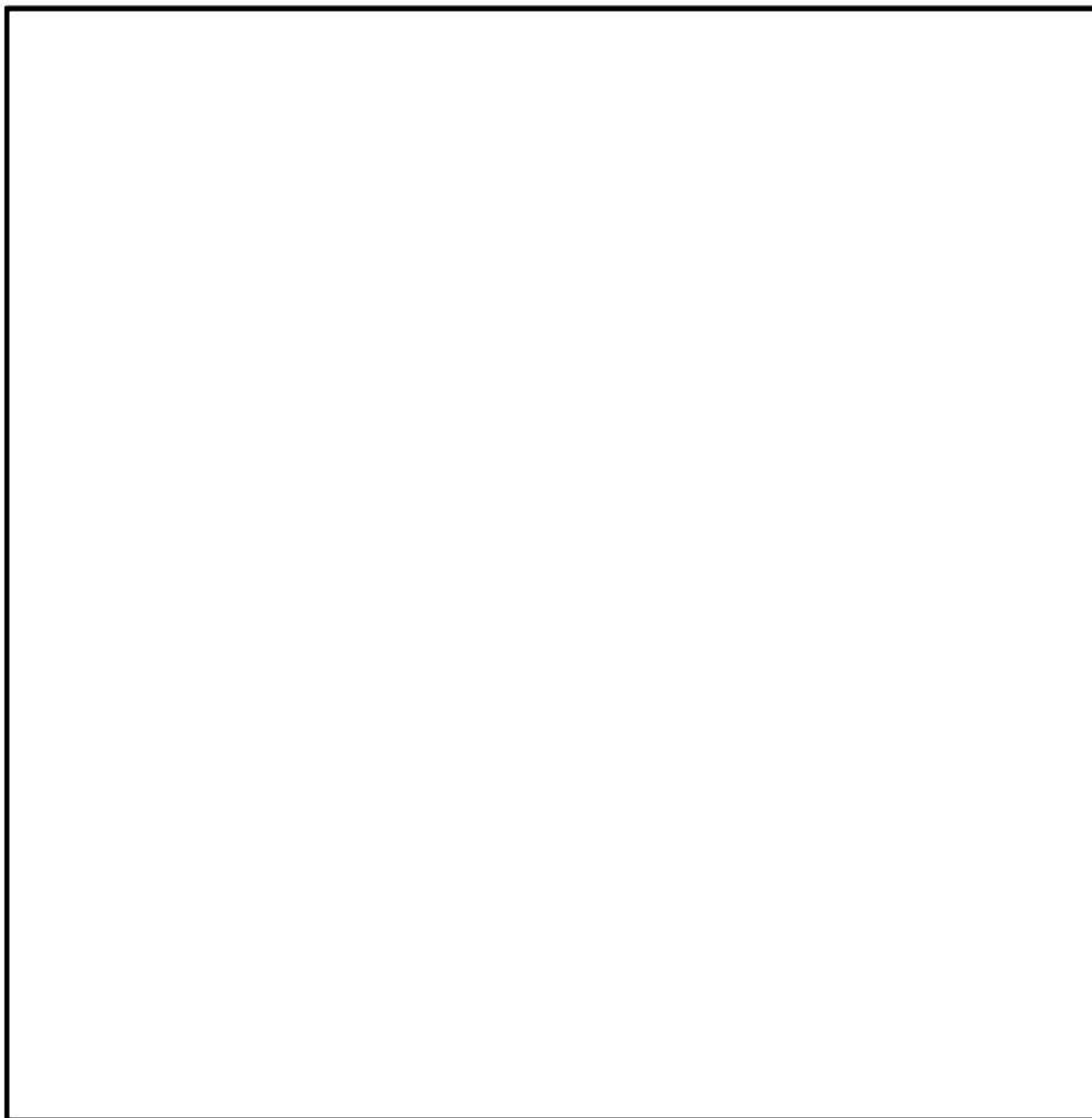
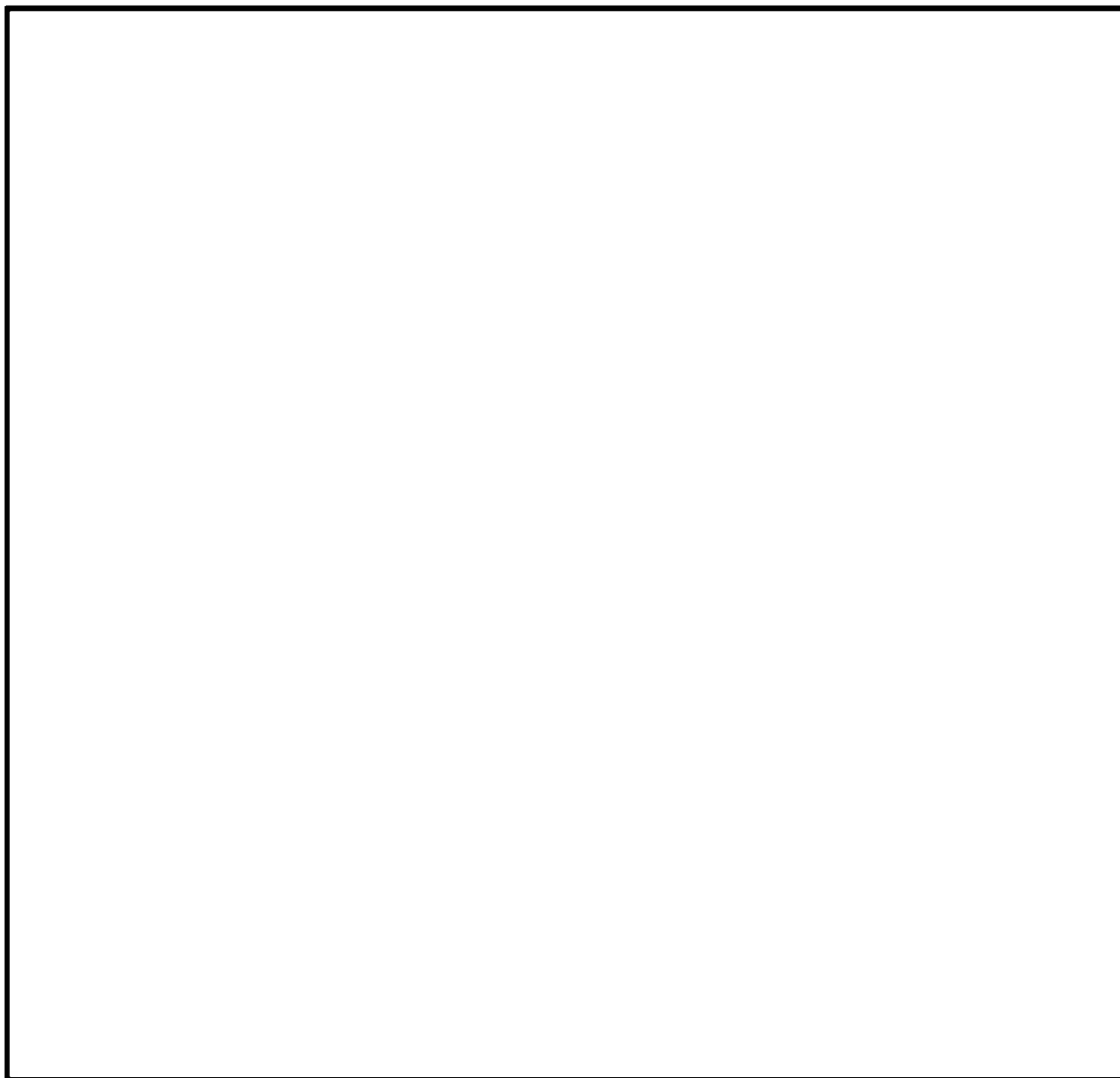


図-別紙4-8 川内2号炉 非破壊試験実施箇所(中性化深さ)
(非常用ディーゼル発電用燃料油貯油槽基礎、燃料取替用水タンク基礎)

別紙5. 塩分量測定箇所

凡例 (断面方向) (垂直方向)

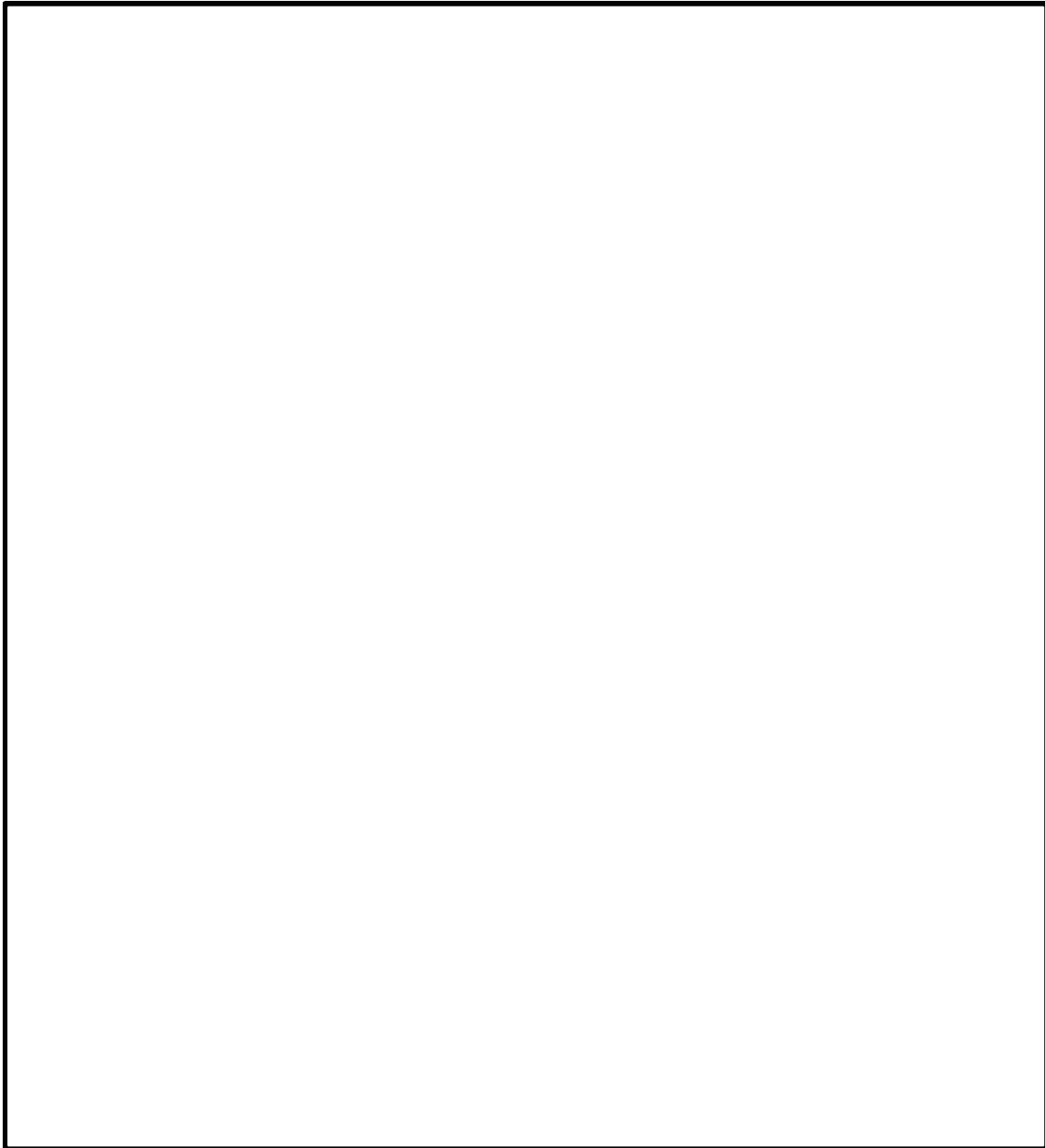
▼	●	: ドライガーゼ法
▼	●	: 蛍光X線分析計



図－別紙5－1 川内2号炉 塩分量測定箇所
(原子炉補助建屋)

凡例 (断面方向) (垂直方向)

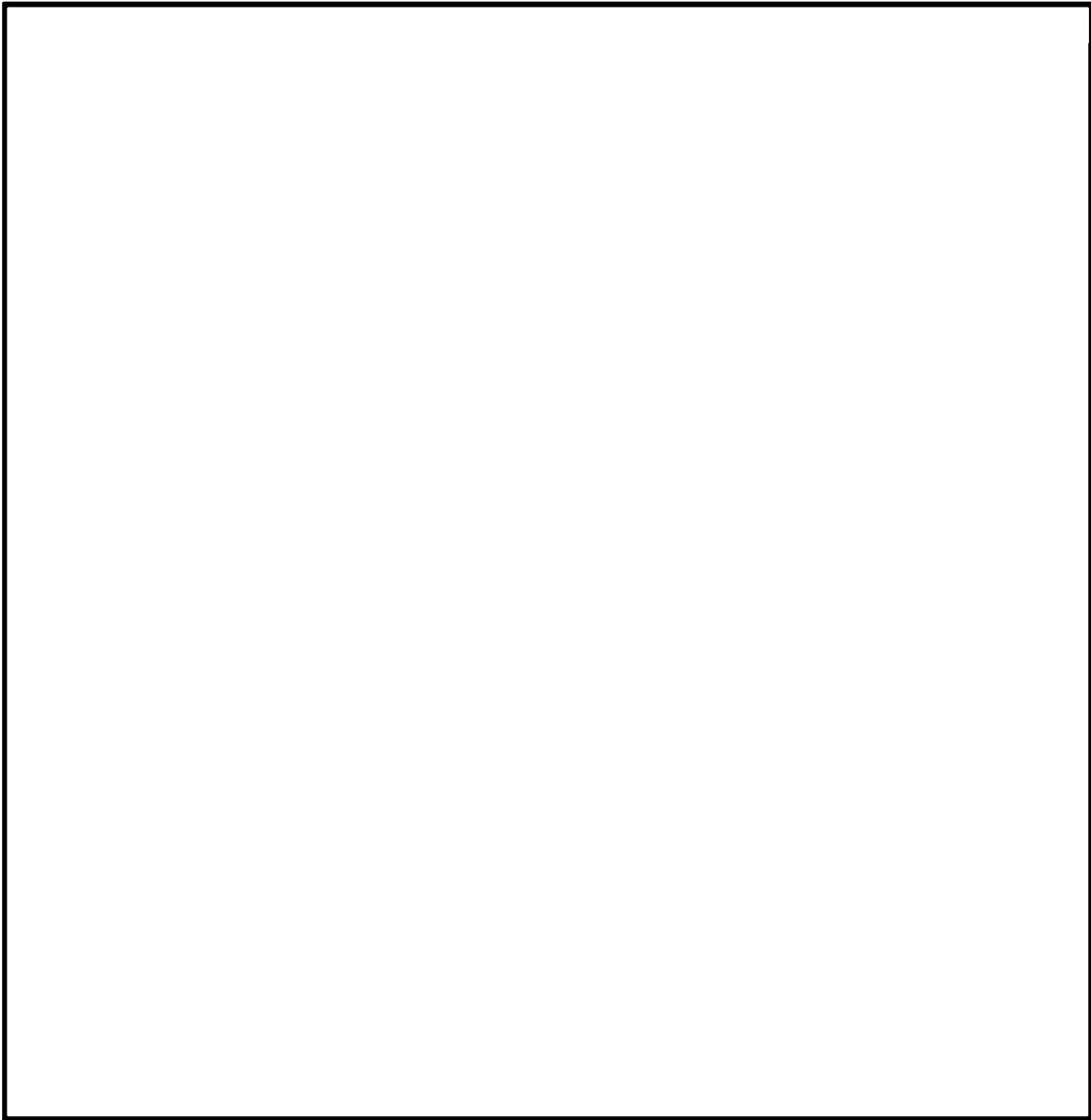
▼	●	: ドライガーゼ法
▼	●	: 蛍光X線分析計



図－別紙 5－2 川内 2 号炉 塩分量測定箇所
(原子炉補助建屋)

凡例 (断面方向) (垂直方向)

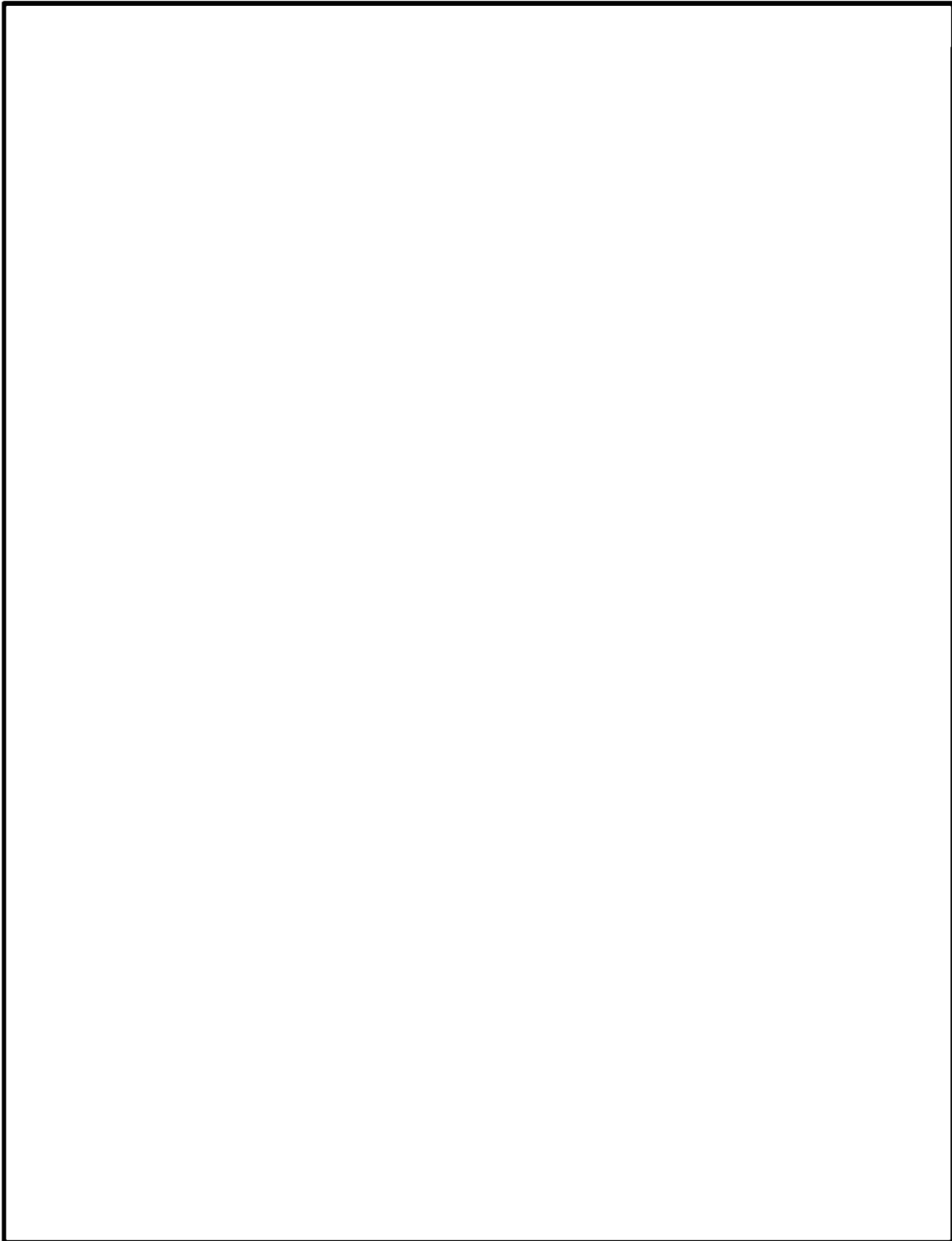
▼	●	: ドライガーゼ法
▼	●	: 蛍光X線分析計



図－別紙5－3 川内2号炉 塩分量測定箇所
(原子炉格納施設等)

凡例 (断面方向) (垂直方向)

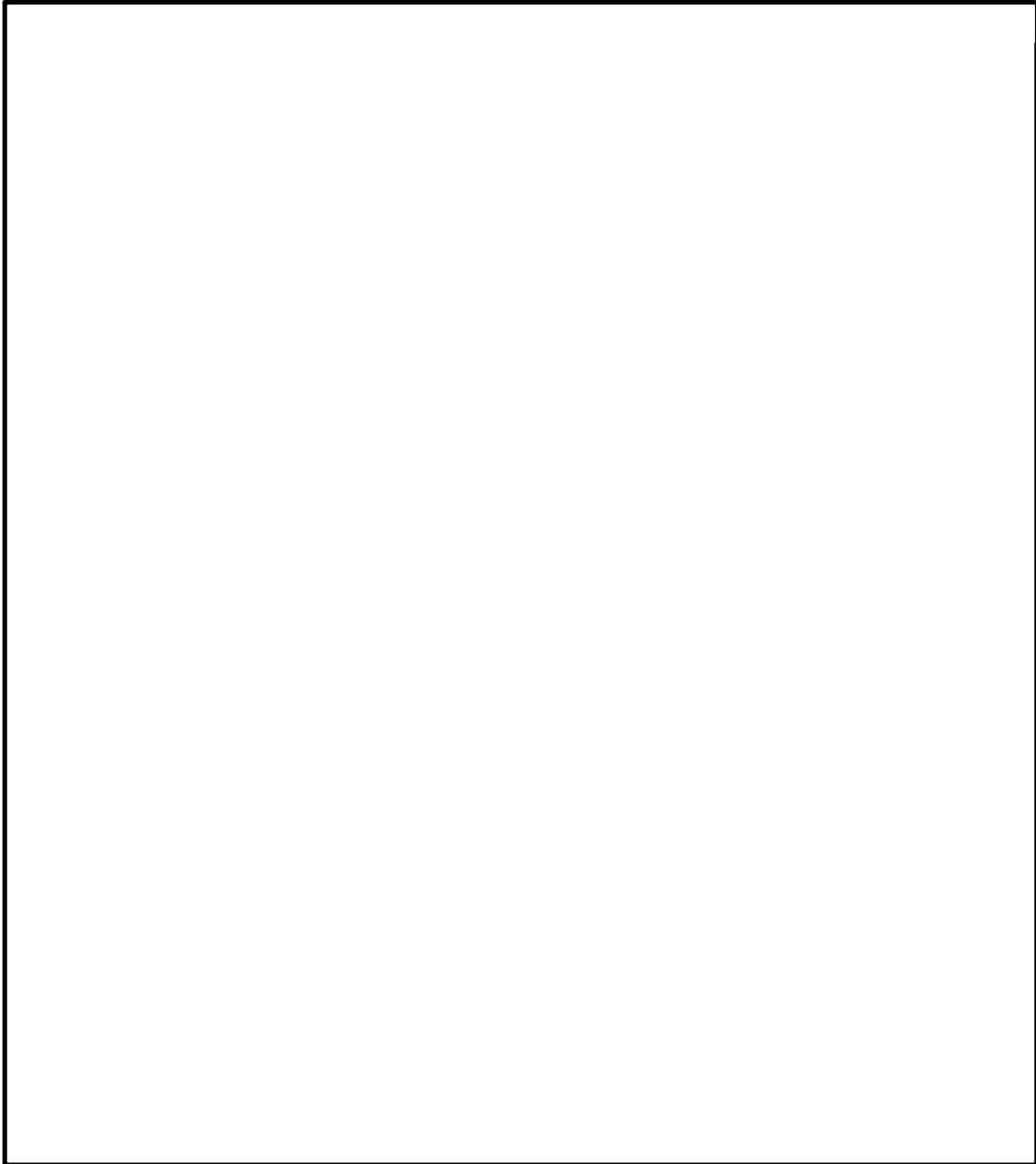
▼	●	: ドライガーゼ法
▼	●	: 蛍光X線分析計



図－別紙5－4 川内2号炉 塩分量測定箇所
(取水槽 (干満帯、気中帯))

凡例 (断面方向) (垂直方向)

▼	●	: ドライガーゼ法
▼	●	: 蛍光X線分析計



図－別紙 5－5 川内 2 号炉 塩分量測定箇所
(非常用ディーゼル発電用燃料油貯油槽基礎、燃料取替用水タンク基礎)

別紙6. 塩分量測定の方

(1) ドライガーゼ法

①測定箇所の範囲

測定箇所について、海岸線から最も近い面でかつアクセス性を有する箇所、ということで、EL+36.15m～+62.4mの昇降用タラップでアクセスできる範囲を選定した。

②測定箇所数

一般に、飛来塩分の測定はkm単位で行うことが多いが、外部遮蔽壁の高さが約4.5m程度であることを踏まえ、より保守的な評価となる観点で、その範囲の最上部と最低部、これに加えてその間の3箇所について、測定を行うこととした。

③測定期間

測定期間は、季節変動を踏まえて2019年11月から2020年11月までの約1年間の測定記録を使用した。

(2) ポータブル型蛍光X線分析計

①測定箇所の範囲

測定箇所の範囲は、原子炉補助建屋については、海風の影響を受ける海岸線から最も近い面を、その他の構造物については、その規模を踏まえ全体を選定した。

②測定箇所数

塩害対策のマニュアルとして、橋梁塩害対策検討会「塩害橋梁維持管理マニュアル(案)」(2008)が示されている。この中で、塩害の詳細調査を行う場合、その範囲として“上部構造1径間ごと”との記載がある。マニュアルにおいては、詳細調査は目視点検で塩害による損傷が認められたものが対象となり、また当社設備の事例では、上部構造で約40mの長さの規模になることから、概ね、記載の規模程度で損傷が認められる設備に対して、1箇所を点検することで、設備全体の状態を代表することができる、と考えられる。

今回、目視点検においては損傷が確認されていない設備が対象であり、対象とする範囲も同様の規模程度であることを踏まえると、1箇所の測定で状態を代表できると考えられるが、より保守的に評価するため、3箇所程度について、測定を行うこととした。

また、1箇所あたりの測定範囲はコアサンプル採取を前提とし、コアサンプル採取本数に合わせて範囲を設定しており、その範囲内で測定している。

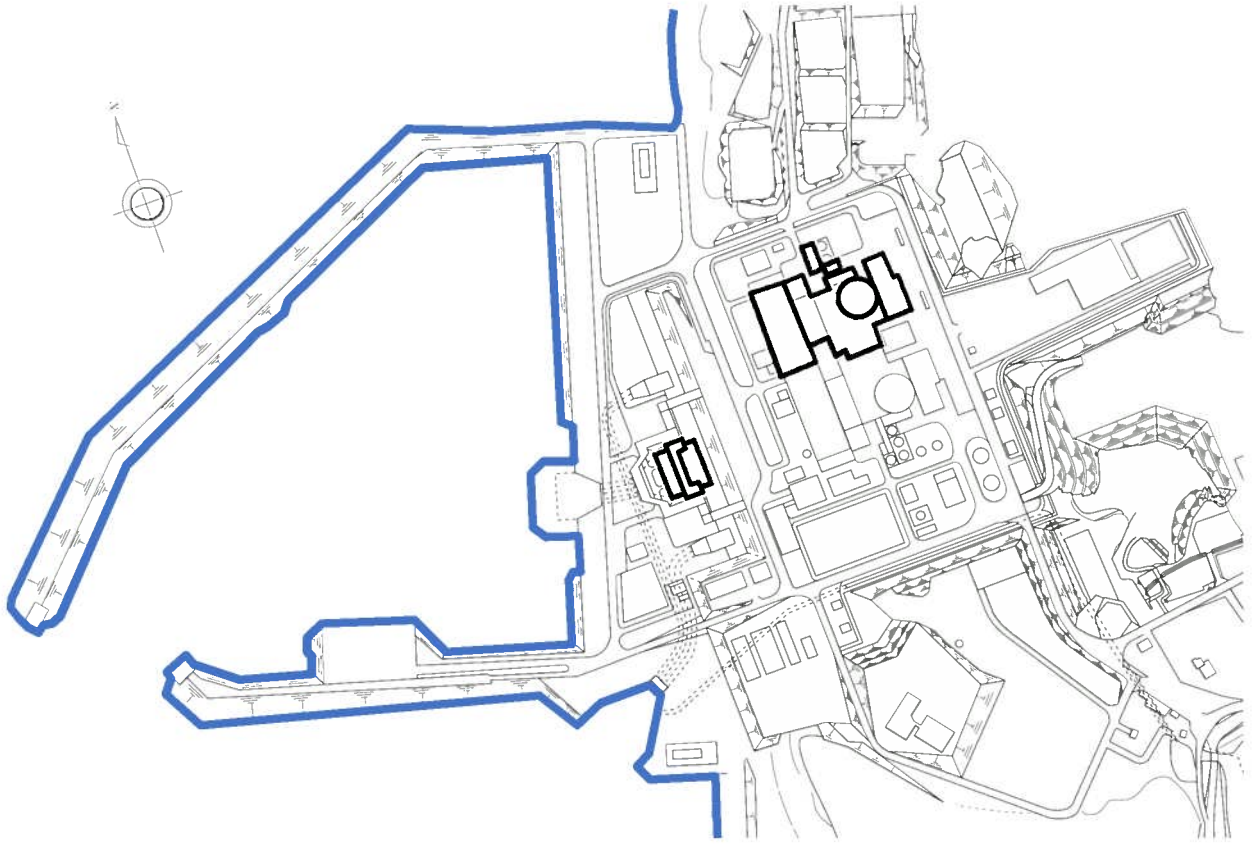


図-別紙6-1 川内2号炉 海岸線からの位置関係

別紙 7. 強度、遮蔽能力、中性化深さ、塩分浸透の点検結果の詳細
(コアサンプル毎の試験結果)

1. 強度の点検結果の詳細

対象のコンクリート構造物		対象の部位	コア No.	圧縮強度 (N/mm ²)	平均圧縮強度 ^{※1} (N/mm ²)	備考 ^{※2}
原子炉格納施設等	外部遮蔽壁		1	46.1	47.0	22.1
			2	45.5		
			3	49.4		
	内部コンクリート		1	45.2	46.8	22.1
			2	53.6		
			3	41.5		
	基礎マット		1	49.7	51.0	22.1
			2	53.4		
			3	49.8		
原子炉補助建屋	外壁		1	52.8	49.3	22.1
			2	48.8		
			3	46.3		
	内壁及び床		1	29.5	29.9	22.1
			2	30.1		
			3	30.1		
	使用済み燃料プール		1	41.2	43.0	22.1
			2	40.3		
			3	47.5		
	基礎マット		1	39.7	40.8	22.1
			2	37.7		
			3	45.1		
タービン建屋	内壁及び床		1	39.0	36.7	22.1
			2	31.7		
			3	39.3		
	基礎マット		1	43.1	43.0	17.7
			2	41.7		
			3	44.1		
取水槽	海中帯		1	35.7	38.7	23.5
			2	37.2		
			3	43.2		
	干満帯		1	25.3	32.0	23.5
			2	31.9		
			3	38.8		
	気中帯		1	42.0	43.7	23.5
			2	44.8		
			3	44.3		
安全機能を有する系統及び機器又は常設重大事故等対処設備に属する機器を支持する構造物	原子炉格納施設内	上記「原子炉格納施設等」を含む				
	原子炉補助建屋内	上記「原子炉補助建屋」を含む				
	タービン建屋内 (タービン架台を含む。)	上記「タービン建屋」を含む				
上記以外の構造物 (安全機能を有する構造物又は常設重大事故等対処設備に属する構造物・安全機能を有する系統及び機器又は常設重大事故等対処設備に属する機器を支持する構造物に限る。)	非常用ディーゼル発電用燃料油貯油槽基礎		1	43.8	41.8	22.1
			2	39.6		
			3	42.0		
	燃料取替用水タンク基礎		1	31.3	31.0	22.1
			2	30.9		
			3	30.9		

※ 1 : コアサンプル 3 本の平均値

※ 2 : 設計基準強度 (N/mm²)

2. 遮蔽能力の点検結果の詳細

対象のコンクリート構造物	対象の部位	コア No.	単位容積質量 (g/cm ³)	平均単位容積質量 ^{※1} (g/cm ³)	コア No.	乾燥単位容積質量 (g/cm ³)	平均乾燥単位容積質量 ^{※1} (g/cm ³)	備考 ^{※2}
原子炉格納施設等	外部遮蔽壁	1	2.318	2.321	1	2.221	2.223	2.180
		2	2.311		2	2.208		
		3	2.334		3	2.239		
	内部コンクリート	1	2.343	2.358	1	2.226	2.238	
		2	2.334		2	2.215		
		3	2.398		3	2.272		
原子炉補助建屋	外壁	1	2.303	2.313	1	2.193	2.207	
		2	2.289		2	2.184		
		3	2.346		3	2.245		
	内壁及び床	1	2.341	2.340	1	2.234	2.233	
		2	2.321		2	2.203		
		3	2.357		3	2.262		

※1 コアサンプル3本の平均値

※2 設計値 (g/cm³)

3. 中性化深さの点検結果の詳細

対象のコンクリート構造物		対象の部位	コア No.	中性化深さ (mm)	平均中性化深さ ^{※1} (mm)	備考 ^{※2}
原子炉格納施設等	外部遮蔽壁		1	16.6	19.2	60
			2	20.4		
			3	20.7		
	内部コンクリート		1	1.3	1.3	60
			2	2.0		
			3	0.6		
	基礎マット		1	36.7	33.4	100
			2	32.1		
			3	31.3		
原子炉補助建屋	外壁		1	45.1	43.3	70
			2	42.7		
			3	42.0		
	内壁及び床		1	5.1	5.3	70
			2	5.8		
			3	4.9		
	使用済み燃料プール		1	22.9	14.8	70
			2	11.5		
			3	9.9		
	基礎マット		1	32.0	30.6	70
			2	27.9		
			3	31.9		
タービン建屋	内壁及び床		1	38.8	20.4	95
			2	14.4		
			3	8.1		
	基礎マット		1	5.9	4.0	80
			2	2.8		
			3	3.2		
取水槽	海中帯		1	0.0	0.5	85
			2	0.0		
			3	1.5		
	干満帯		1	0.0	0.0	87
			2	0.0		
			3	0.0		
	気中帯		1	5.2	11.8	90
			2	22.3		
			3	7.9		
安全機能を有する系統及び機器又は常設重大事故等対処設備に属する機器を支持する構造物	原子炉格納施設内	上記「原子炉格納施設等」に含む				
	原子炉補助建屋内	上記「原子炉補助建屋」に含む				
	タービン建屋内 (タービン架台を含む。)	上記「タービン建屋」に含む				
上記以外の構造物 (安全機能を有する構造物又は常設重大事故等対処設備に属する構造物・安全機能を有する系統及び機器又は常設重大事故等対処設備に属する機器を支持する構造物に限る。)	非常用ディーゼル発電用燃料油貯油槽基礎		1	3.4	4.0	70
			2	4.0		
			3	4.5		
	燃料取替用水タンク基礎		1	3.0	3.4	70
			2	4.4		
			3	2.8		

※1 コアサンプル3本の平均値

※2 当該箇所のかぶり厚さ (mm)

4. 塩分浸透の点検結果の詳細 (1/2)

塩化物イオン濃度

対象のコンクリート 構造物	対象の部位		塩化物イオン濃度 (%)						
			表面からの深さ (mm)	0~20	20~40	40~60	60~80	80~100	100~120
原子炉格納施設等	外部遮蔽壁	コアNo.	1	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01
			2	0.04	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01
			3	0.04	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
		平均 ^{※1}	0.03	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	
原子炉補助建屋	外壁	コアNo.	1	0.03	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
			2	0.03	0.01	0.01	0.01	0.00	0.01
			3	0.03	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
		平均 ^{※1}	0.03	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
取水槽	海中帯	コアNo.	1	0.46	0.30	0.13	0.06	0.05	0.05
			2	0.29	0.32	0.21	0.18	0.12	0.12
			3	0.29	0.30	0.22	0.15	0.10	0.08
		平均 ^{※1}	0.35	0.31	0.19	0.13	0.09	0.08	
	干満帯	コアNo.	1	0.44	0.31	0.28	0.24	0.16	0.12
			2	0.46	0.33	0.23	0.16	0.13	0.08
			3	0.38	0.30	0.24	0.16	0.13	0.08
		平均 ^{※1}	0.43	0.31	0.25	0.19	0.14	0.09	
	気中帯	コアNo.	1	0.09	0.11	0.08	0.06	0.06	0.06
			2	0.07	0.08	0.06	0.06	0.06	0.06
			3	0.08	0.08	0.07	0.06	0.06	0.06
		平均 ^{※1}	0.08	0.09	0.07	0.06	0.06	0.06	
上記以外の構造物 (安全機能を有する 構造物又は常設重大 事故等対処設備に属 する構造物・安全機 能を有する系統及び 機器又は常設重大事 故等対処設備に属す る機器を支持する構 造物に限る。)	非常用ディーゼル発電用 燃料油貯油槽基礎	コアNo.	1	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
			2	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00
			3	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
		平均 ^{※1}	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
	燃料取替用水タンク基礎	コアNo.	1	0.04	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
			2	0.04	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
			3	0.03	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
		平均 ^{※1}	0.04	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	

※1 コアサンプル3本の平均値

4. 塩分浸透の点検結果の詳細 (2/2)

塩化物イオン量

対象のコンクリート 構造物	対象の部位		塩化物イオン量 (kg/m ³)						
			表面からの深さ (mm)	0~20	20~40	40~60	60~80	80~100	100~120
原子炉格納施設等	外部遮蔽壁	コアNo.	1	0.51	0.34	0.16	0.15	0.12	0.13
			2	0.89	0.36	0.16	0.15	0.15	0.13
			3	0.87	0.24	0.15	0.14	0.13	0.13
		平均 ^{※1}	0.76	0.31	0.16	0.15	0.13	0.13	
原子炉補助建屋	外壁	コアNo.	1	0.76	0.20	0.12	0.13	0.13	0.12
			2	0.72	0.14	0.12	0.13	0.10	0.11
			3	0.73	0.18	0.13	0.12	0.15	0.12
		平均 ^{※1}	0.74	0.17	0.12	0.13	0.13	0.12	
取水槽	海中帯	コアNo.	1	9.80	6.44	2.73	1.26	1.11	1.10
			2	6.47	7.13	4.74	3.95	2.59	2.65
			3	6.48	6.54	4.95	3.33	2.21	1.79
		平均 ^{※1}	7.58	6.70	4.14	2.85	1.97	1.85	
	干満帯	コアNo.	1	9.55	6.78	6.12	5.21	3.41	2.49
			2	9.94	7.06	4.88	3.55	2.78	1.75
			3	8.34	6.56	5.29	3.52	2.74	1.83
		平均 ^{※1}	9.28	6.80	5.43	4.09	2.98	2.02	
	気中帯	コアNo.	1	2.04	2.31	1.67	1.35	1.41	1.35
			2	1.64	1.72	1.43	1.32	1.23	1.29
			3	1.77	1.82	1.56	1.36	1.39	1.31
		平均 ^{※1}	1.82	1.95	1.55	1.34	1.34	1.32	
上記以外の構造物 (安全機能を有する 構造物又は常設重大 事故等対処設備に属 する構造物・安全機 能を有する系統及び 機器又は常設重大事 故等対処設備に属す る機器を支持する構 造物に限る。)	非常用ディーゼル発電用 燃料油貯油槽基礎	コアNo.	1	0.19	0.12	0.11	0.11	0.11	0.12
			2	0.18	0.12	0.11	0.12	0.11	0.10
			3	0.22	0.14	0.13	0.14	0.13	0.13
		平均 ^{※1}	0.20	0.13	0.12	0.12	0.12	0.12	
	燃料取替用水タンク基礎	コアNo.	1	0.96	0.26	0.14	0.13	0.13	0.13
			2	0.88	0.21	0.12	0.13	0.12	0.11
			3	0.76	0.22	0.11	0.13	0.12	0.12
		平均 ^{※1}	0.87	0.23	0.12	0.13	0.12	0.12	

※1 コアサンプル3本の平均値

別紙 8. 新規制基準以降に設置した構造物の建設時に実施した主な試験結果

運転期間延長認可申請に係る運用ガイドに記載の点検箇所を示されている「上記以外の構造物」のうち、新規制基準以降に設置した常設重大事故等対処設備に属する構造物についての主な試験結果（供試体3本の平均値）を以下に示す。なお、アルカリ骨材反応に関する試験結果は劣化状況評価補足説明資料別紙 14 に示す通りである。

1. 圧縮強度試験結果

対象のコンクリート構造物	対象の部位	平均圧縮強度 (N/mm ²) ※1	備考※2
緊急時対策所	外壁	45.0	36.0
	内壁及び床	47.7	
大容量空冷式発電機基礎		42.0	24.0

※1 緊急時対策所：JIS A 1108 2018 に準拠
 大容量空冷式発電機基礎：JIS A 1108 2006 に準拠

※2 設計基準強度 (N/mm²)

2. 乾燥単位容積質量試験結果

対象のコンクリート構造物	対象の部位	平均乾燥単位容積質量 (g/cm ³) ※3	備考※4
緊急時対策所	外壁	2.365	2.150
	内壁及び床	2.318	

※3 JASS 5N T-602：2013 に準拠

※4 設計値 (g/cm³)